

平成 28 年度 第 2 回 地域懇談会報告書



地域がつながり動き出す…!!!



はじめに

平成 26 年度から 3 か年計画で進めてきた地域懇談会。平成 26 年度は「地域が地域を知る」、平成 27 年度は「地域が地域コミュニティを考える」そして平成 28 年度は「地域がつながり動き出す」をテーマに進めてきました。

また、今年度はアクションプランが始動した年でもあります。地域懇談会で話し合った地域の課題とアクションプラン案を、その後市民有志と地域サポーターで形にし、8 中学校区がそれぞれの速度で動き始めました。

これは小さな一歩かもしれませんが、何もしなければ地域は変わりません。地域で活躍する一人ひとりの思いと行動が重なった時、それは大きな一歩になるのではないのでしょうか。

さて、今回の地域懇談会は、各地区で懇談の内容が異なりました。しかし、その根底にあるものは「アクションプランを継続させる」というものです。

どうしたら継続できるか、どうしたらもっと人に来てもらえるかなどをみんなで考えました。

参加者からはユニークなアイデアや、実現可能な意見など、たくさんのアイデアをいただくことができました。

このアイデアはアクションプラン実行委員会にもフィードバックされ、今後のアクションプランに生かされます。

アクションプランでは、述べ、約 500 団体、約 10,000 人の市民が関わってくれました。

平成 29 年度の第 1 回地域懇談会は、各中学校区で行うのではなく、全地区が一カ所に集まってもらい、アクションプランの報告を中心に行います。

それぞれで行っていたアクションプランですが、各地区の動きを知ってもらい、参考にしていただけたら、と思っています。

中学校区という「地域」の範囲を超えて、「日野市」という範囲での「地域」でつながることができたなら・・・どんな化学反応が起きるか、今から楽しみです。

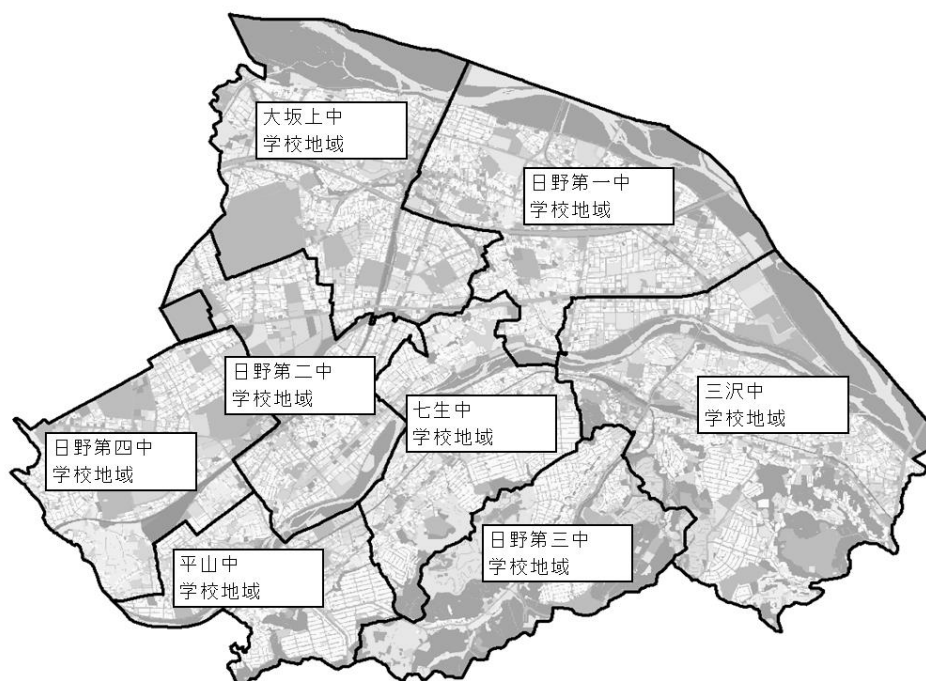
I	開催概要.....	1
II	地域懇談会とは.....	2
III	各中学校地区のアクションプラン.....	7
IV	懇談の内容.....	8
V	自治会アンケート調査まとめ(抜粋)	9

I 開催概要

1 実施状況

日程		中学校区	会場	参加団体 (数)	参加人数 (人)
1/28 (土)	午前	大坂上中	新町交流センター 1階 ホール	29	38
	午後	四中	日野第四中学校 2階 ランチルーム	28	36
2/4 (土)	午前	平山中	平山小学校 2階 大会議室	23	36
	午後	七生中	七生中学校 2階 ランチルーム	30	41
2/19 (日)	午前	二中	多摩平交流センター 3階 集会室 6	25	40
	午後	一中	生活・保健センター 1階 予防接種室	21	28
2/25 (土)	午前	三中	七生福祉センター 1階 老人集会室	20	28
	午後	三沢中	三沢中学校 1階 ランチルーム	28	32
※午前…10:00～12:15 午後…15:00～17:15				合計	204
					279

2 中学校区域図



中学校区ごとの人口状況

全地区共通資料編

	高齢化率 (65歳以上の人口/総人口)	人口増減率 (H21年からH25の増減率)	年少人口率 (15歳未満の人口/総人口)	定住化率 (5年前の常住地が現住所であった世帯割合)
平均	22.3%	103.0%	13.2%	64.3%
一中	18.0%	106.0%	15.1%	61.4%
二中	25.8%	107.0%	12.2%	62.7%
七生中	23.6%	102.0%	12.0%	65.5%
三中	38.2%	97.0%	13.1%	67.2%
四中	17.8%	104.0%	15.6%	63.8%
三沢中	22.1%	102.0%	13.3%	63.4%
大坂上中	19.4%	105.0%	13.7%	63.9%
平山中	30.9%	99.0%	10.7%	70.2%

出典：日野市住宅マスタープラン（平成27年3月発行）

日野市企画部地域協働課

中学校区ごとの人口状況

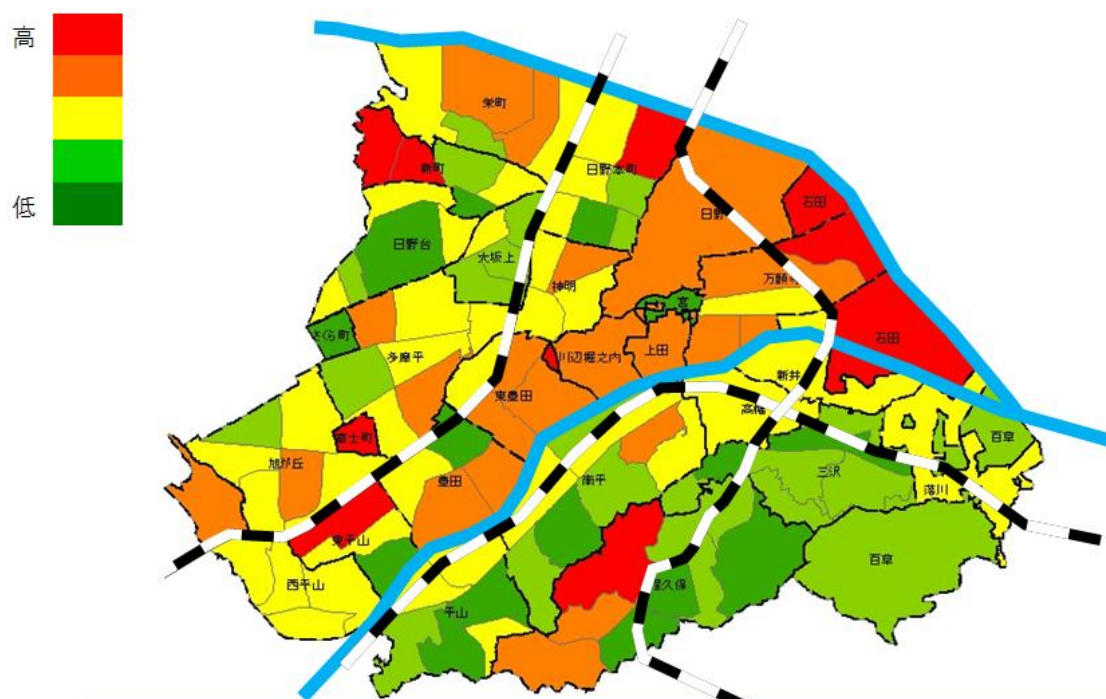
全地区共通資料編

	世帯数	戸建住宅		共同住宅		高齢単身世帯数		三世代世帯数	
		世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合
平均	10,248	4,709	41.8%	6,022	56.1%	908	8.5%	280	2.6%
一中	11,546	4,826	43.3%	6,077	54.6%	642	5.7%	348	3.1%
二中	9,874	4,899	42.0%	6,478	55.6%	1,119	12.1%	230	2.5%
七生中	8,659	4,783	58.5%	3,247	39.7%	635	7.4%	260	3.0%
三中	4,936	5,676	51.9%	5,062	46.3%	1,022	9.0%	324	2.9%
四中	10,635	3,439	35.9%	5,943	62.0%	645	6.6%	230	2.4%
三沢中	17,165	6,100	34.9%	10,933	62.5%	1,487	8.6%	359	2.1%
大坂上中	12,471	4,705	38.5%	7,360	60.2%	992	7.9%	304	2.4%
平山中	6,698	3,245	50.1%	3,077	47.5%	725	11.2%	188	2.9%

出典：日野市住宅マスタープラン（平成27年3月発行）

15歳未満の年齢が多い地域(比率)

全地区共通資料編



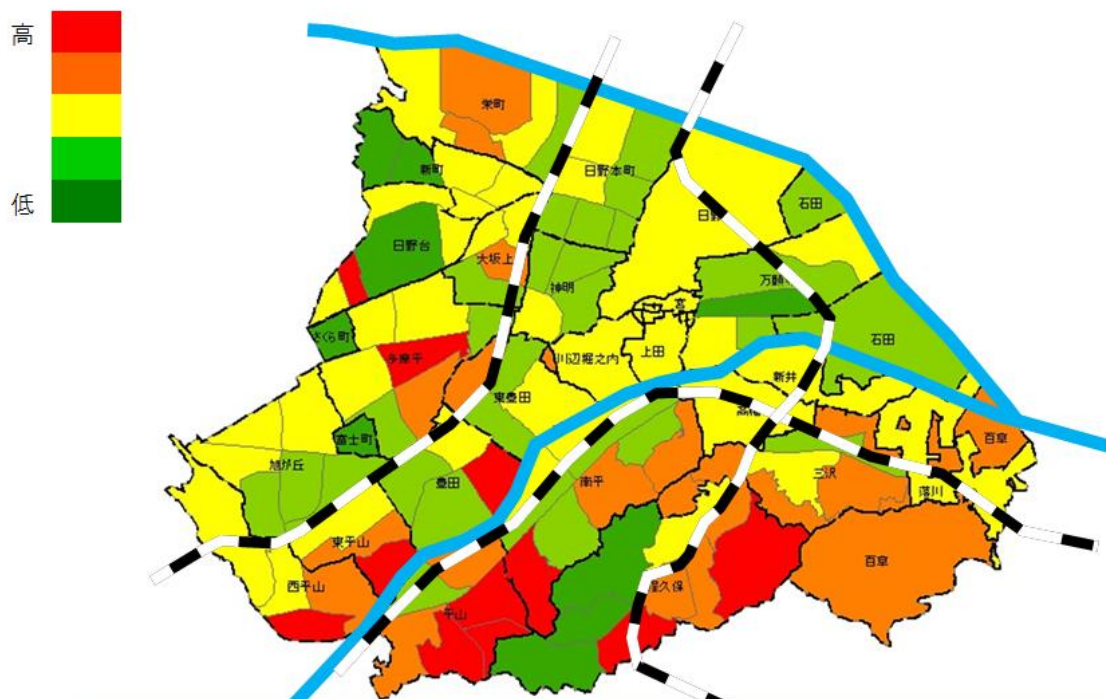
- 総人数に対する15歳未満の年齢人口の割合を町丁目別に出したもの
- 基準日：2015年12月2日時点

日野市企画部地域協働課

3

高齢者のみの世帯数が多い地域(比率)

全地区共通資料編



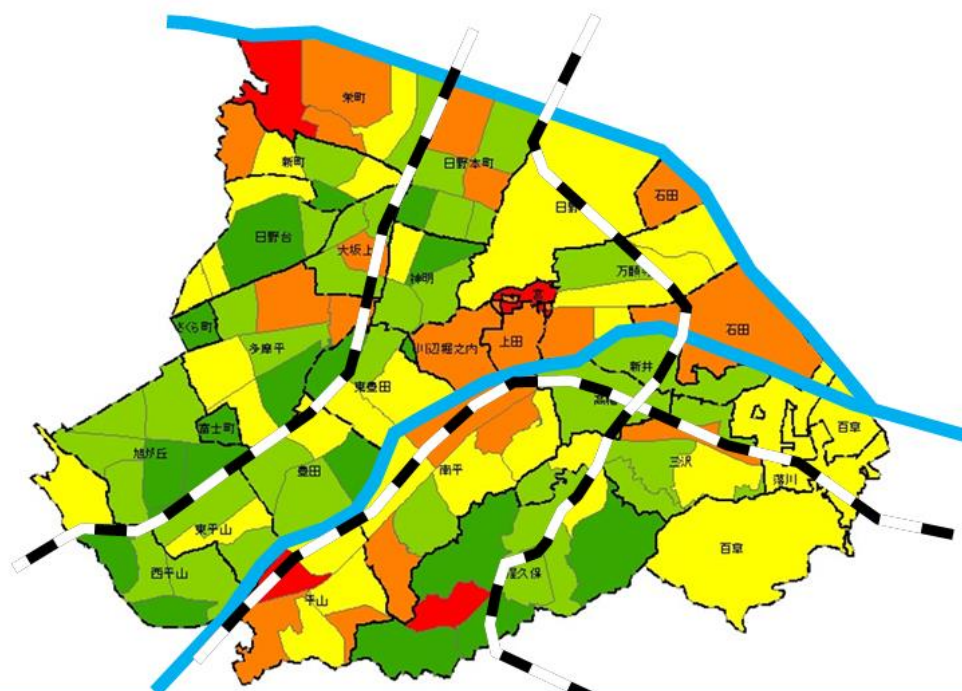
- 町丁目別世帯数のうち、65歳以上のみの世帯数の割合を出したもの
- 基準日：2015年12月2日時点

日野市企画部地域協働課

4

三世代以上の世帯数が多い地域(比率)

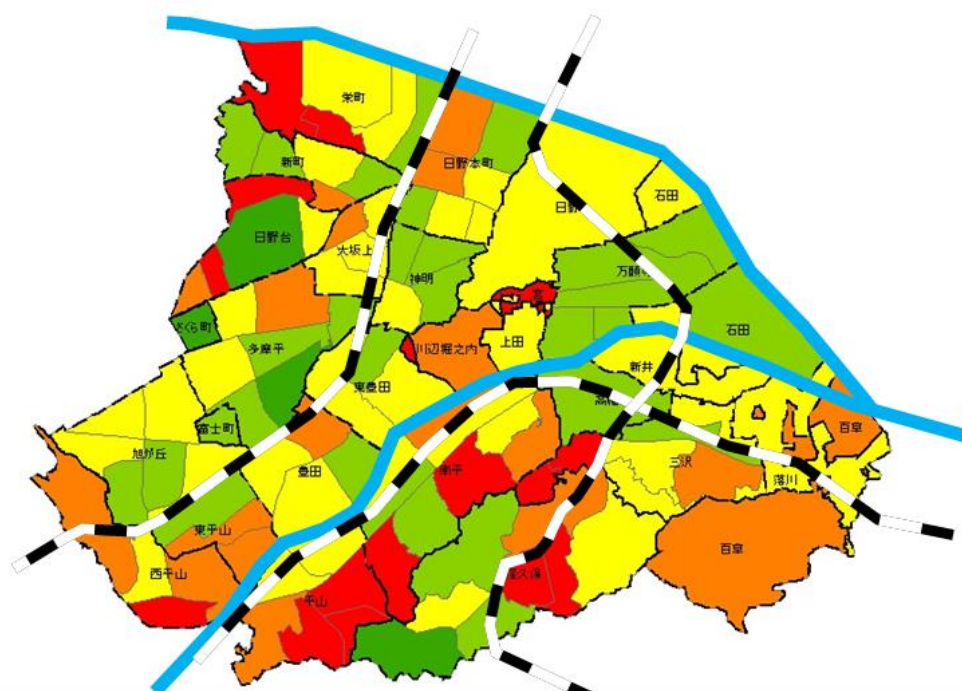
全地区共通資料編



■ 町丁目別世帯数のうち、三世代以上の世帯数の割合を出したもの
■ 基準日：2015年12月2日時点

居住世帯年数の長い地域(平均)

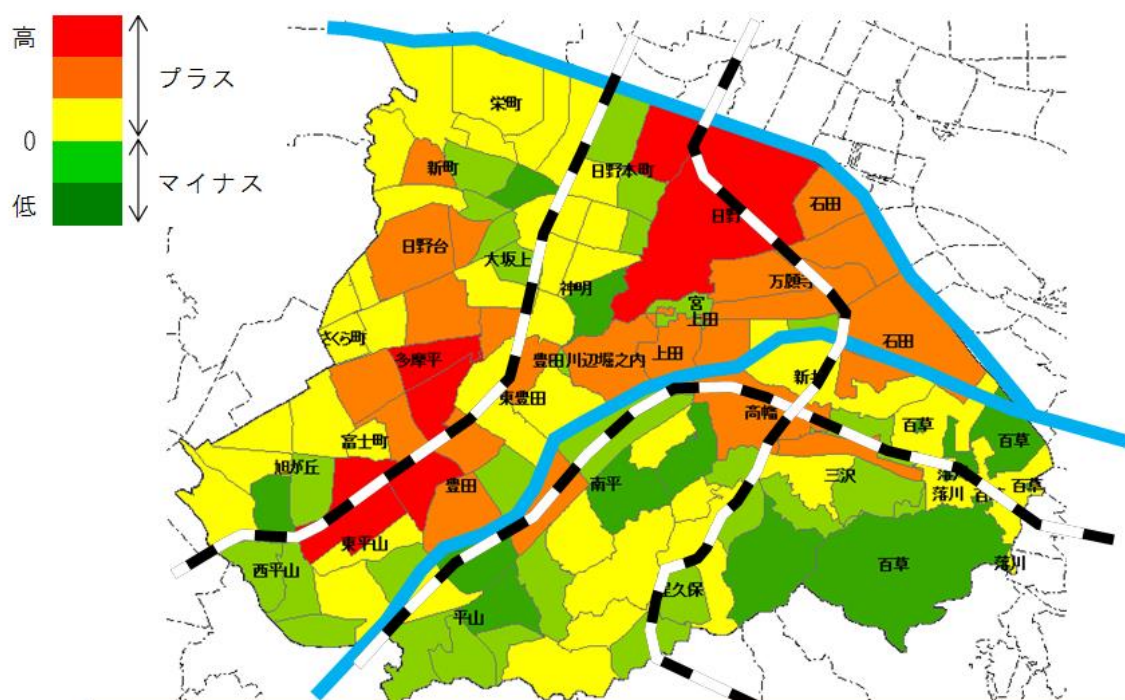
全地区共通資料編



■ 各世帯の居住年数の平均を比べたもの
■ 基準日：2015年12月2日時点

人口の増減

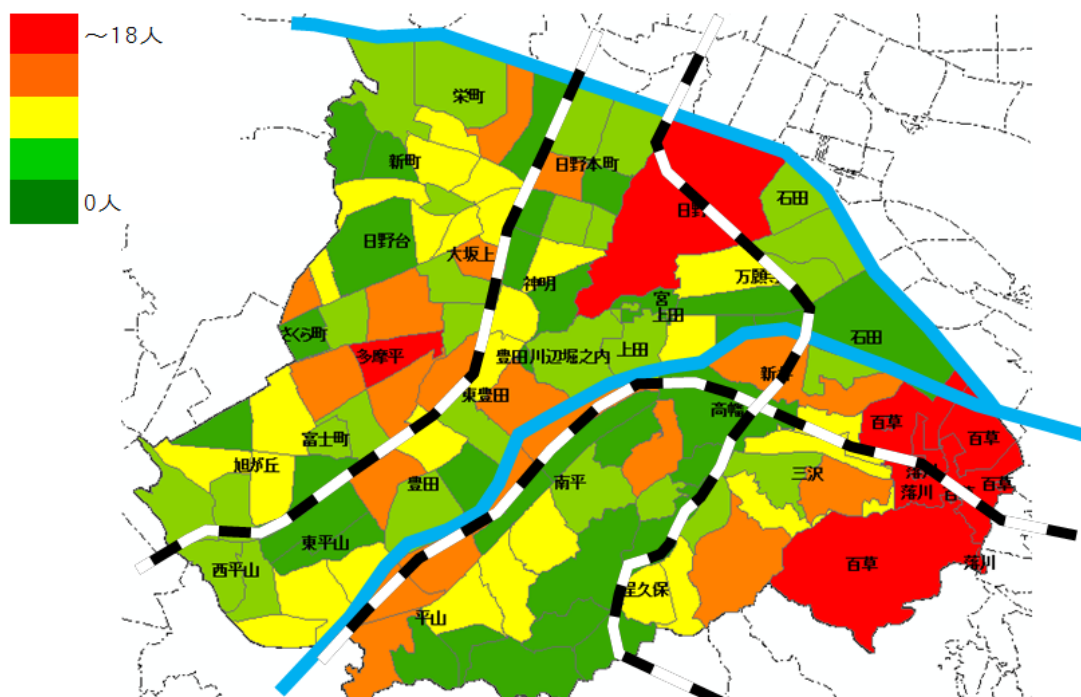
全地区共通資料編



■ 2011年4月1日～2016年4月1日までの5年間の人口の増減の状況を町丁目別に出したもの

孤独死と思われる人(死亡日が未確定)の数

全地区共通資料編



■ 2011年1月1日～2016年12月31日までの間で、死亡日が未確定の人の数を町丁目別に出したもの

Ⅲ 各中学校地区のアクションプラン

	中学校区	アクションプラン	内 容
1	一中	仲田の森で夏祭り！	夏休みのラジオ体操の後、1 日だけ参加者が仲田の森蚕糸公園に集まる日を作り、イベント(有言実行大声コンテストなど)を行うことで交流の場とする。
2	二中	二中地区プランニング !!!	二中地区をぶらぶら(Burabura)気軽に歩きながら、地域の魅力を活かす方法を考え(Planning)、地域に関心を持つ人を増やしていく。
3	七生中	ななお BON まつり ～秋の陣～	七生中地区内の地域団体が出店を出し、かつて七生のコミュニティをつないでいた「盆踊り祭」を復活させ、地域の団体・個人がつながるきっかけをつくる。
4	三中	簡単防災訓練(イザ!カエルキャラバン!)を実施し、地域の交流を深める(地域で防災の取組み)	楽しみながら出来る防災訓練を行い、訓練実施後に交流会を開くことで、防災について知り、地域交流を深める。
5	四中	ラジオ体操で四中地区がつながる!!	夏休みの子どものラジオ体操を四中地区全体で取り組むことで、子育て世代と高齢者が顔見知りの関係になる。
6	三沢中	ちょこっと声かけたい	「顔の見える関係」をつくるため、地域のイベント開催時に、日ごろから「ちょっと気になる人たち」「きっかけが欲しい人たち」に声をかける。
7	大坂上中	昔遊び会で防災を考えよう!	昔遊びなどで多世代交流や地域で顔の見える関係づくりを図り、遊びながら防災を学べるプログラムなどを活用して、防災・減災につなげる。
8	平山中	平山わの会	お茶を飲みながら気軽に集い、話し合える場を作ることで、お互いの活動を知り、良い取組があればそれを皆で実行していく。

IV 懇談内容

■ 大坂上中地区 ■

◆ アンケート結果

No.	質問	回答			
1	懇談会の感想	充実していた 22	ふつう 8	充実していない 0	無回答 0
	主な意見	充実していた 理由：・さまざまな世代の方と話ができてよかった。 ・活動内容が具体的だった。 ・もう少し世代がひろいと良いと感じました。 ・自治会の取り組みのすばらしさを知った。 ・いろいろな活動をされている方と知り合えた。 ・自分の地域の事を話したくさんの意見が聞けた。 ・話し合いの導入がすんなりいかなかった。方向性が見えにくかった。			
2	もっと「つながり」は必要か	必要 29	必要ではない 0	無回答 1	
	主な意見	必要 理由：・顔の見える関係が震災の時に命を救うと感じました。 ・近隣等の「ふれあい」の機会が減っている。 ・横のつながりがありいろいろな顔が知れると良いと思う。 ・たくさんの方が色々なことに参加が必要。 ・未来を担う子供が安全に安心して暮らせる地域づくりにつながりが必要。 ・防災・防犯等の情報交換のため。 ・どんな世代の人同志でも交流した方がよいです。特に子供、若者と高齢者。			
3	新たな発見・気づき・出会いはあったか	思う 30	なかった 0	わからない 0	無回答 0
	主な意見	あった 理由：・障害者がたくさん参加できる防災訓練の話に何か一緒にできることがないか考えるきっかけになった。 ・地域力は大きい力。 ・地域のことを考えている人が多いことを知った。 ・それぞれの地域の問題点を把握できようすれば			

		よいかなどを考えられる。 ・他の自治会の状況もわかった ・活動が活発であること			
4	プランを継続すると地域は良くなるか	良くなる	変わらない	わからない	無回答
		25	0	4	1
	主な意見	よくなると思う 理由：・まだまだこの取組みを知らない人たちにも参加してもらえるように。 ・地域の力が見本なので。 ・自治会が取り組むと良いと思う、アイデアが豊かになると思う。 ・少しでも前向きな気持ちになれるかと思う。 ・情報交換は有効。 ・各々の自治会活動の方針が伝わっている。			
5	参加または協力してみようと思うか	思う	迷っている	思わない	無回答
		9	10	5	6
	主な意見	参加または協力してみようと思う 理由：・ただ、日程が合うか不安です。 ・時間を作って参加 迷っている 理由：・他地区で協力しているので ・時間がない 思わない 理由：・高齢となり且つ現在の団体活動で殆どのため、 ・現状無理である。 無回答 理由：・家庭の事情で難しいです。			
6	その他地域懇談会に関する意見	・こういう会の積み重ねが大切と思う。 ・日野生徒会サミットや他の活動の若い方々の内容や思っていることを聞きたい。 ・地域懇談会が今後どのように役立ったかを市報に載せてほしい。 ・ワークシート上で誰の意見か分かり易いように、ネームプレートとポストイットの色をすべて分ける。参加者(グループ内)が8名なら8色でネームプレートとポストイットの色を合わせる。 ・三カ年かけての取組みご苦労様です。長い期間かけての意識は大事ですね。			

◆懇談内容

(1)	
交流の為に取組んだこと⇒やってみての効果	
A	しんさかした秋の文化まつり 子どもが参加できるイベント⇒子どもが来ることで楽しくなる。 子どもが参加することが成功のカギ 他自治会の協力 国際交流協会での取り組み 育成会ふれあいまつり 20年以上続くおまつり 遊び・防災等のイベントで1000人以上が参加する。 ⇒世代間の交流が生まれた 遊びながら防災を学ぶことができる
B	防災訓練、一斉清掃、防犯パトロールを行った。地域や学校のお祭りへ参加した。 安否確認のカードを作った。ハロウィンの時に合わせて芋ほりをした。
C	交流の為に取組んだこと ・カエルキャラバン（防災訓練） ・秋祭り（祭典）で会員の交流を図る ・古い地図・写真を目の前にしたお話の場 ・PR不足で人集まらず ・お祭りのお返しにくじ引きをする ・自治会イベントの参加・協力 ・地域のサロンでイベントを行う やってみての効果 ・はじめの一步が踏み出せた ・地域の人々の生の声が聞けた ・地域の人に知ってもらった ・地域の人たちと子供たちのつながりができた
D	緑ヶ丘自治会と七ツ塚自治会で交流事業の実施 ①例年のもちつき・どんど焼きに、模擬店・昔遊びを加えたことで、参加者が大幅に増えた。 →来年も継続して実施していく。 ②子ども向けに、ビデオ上映会を実施。 →芋ほりと合わせてのハロウィンは、まだ両自治会の交流ができていないが、できるところから交流することによって、地域の人たちの顔が分かり、防犯につながる。
E	自治会の防災訓練 ・自主的な取り組みをしており、100名程参加した ・子ども会参加で、30名程参加した

	防災訓練以外 ・ブドウ狩りを実施し、１００名以上参加した ・盆踊り大会を実施し、１００名以上参加した 効果 ・子ども同士のつながりで、隣の自治会からも参加がある ・個人的に自治会を利用している人もでてきている
F	・神鋼南自治会では、町内一周めぐりや炊き出しカレーを実施した。→防災関係の場所等知っているようで知らないことが多くあった。おいしいものを一緒に食べることで地域のつながりが増し、幅広い世代との交流がもてた。 ・実践大学近辺では以前から変質者の問題があったが、大坂上団地自治会の協力で防犯パトロールの体制が整ってからは安心できるようになっている。 ・実践大学の学生がボランティアで新坂下住宅や大坂上団地で実施した昔あそびやカエルキャラバンの研修で協力してくれたことも高齢者や子ども達に好評であった。 ・日野自立支援センターではピアカウンセリング講座を開催し、障害を持っている方の悩みを聞きサポートをしている。個々で悩みを抱えないと言える場があることは必要である。 ・大坂上二丁目、大坂上都営、高野台、富士見台での合同夏祭り→太鼓をして盛り上がった。
G	《交流のために取り組んだこと》 Gグループでは、前回と同じ出席者は１名だったので、前回の内容での効果の確認はできませんでした。今回の出席者の中で、自治会で出席された方は、神鋼南自治会の黒田さん１名でした。自治会の役員としてこれからの運営に向けてどのようなことを進めていけばいいのかという意見が出ましたので、神鋼南自治会の活性化というテーマで進めた中で、実際に、昔遊びや新春ふれあい祭り、子供たちを集め学校のグラウンドを借りて運動会を実施して地域での交流や繋がりを深めることができたという話がありました。これらの意見が出た中、神鋼南自治会の今後の取り組みや活性化に向けて参考にしたいとのことでした。
(2) 取り組みたかったが、できなかった(取り組んでみたいもの)→どうやったらできるようになるか？	
A	○外国人との交流 ○子どもを呼ぶ工夫 ・地域に子どもが少ない⇒どうしたら子ども達に来てもらうことができるか。 ⇒地域のスポーツクラブ等に声をかけて一緒に参加してもらう。 ○いかにしたら参加者を増やすことができるか。役員中心になる。 ⇒他地域のイベントに参加する - 他の自治会へ声掛けをする。 ○参加者が偏ってしまう ⇒若者への情報発信としてSNS等を活用する。

B	立川の防災館に行こうと計画したが実現しなかった。協力者が少ないので何事も実行することが難しい。自治会マニュアルを作ったが活用されていない。地震など現実の被害を身近に感じ、行政からの指示があれば行動する意識も生まれる。回覧板の手渡しにより、声掛けの機会をつくっている。消火器の使い方といった簡単なマニュアルは有効である。
C	取り組みたかったが、できなかった（取り組んでみたいもの） ・全ての自治会とつながりたい ・子育て世代のパパ同士の交流 ・地域での高齢者と現役世代との交流 ・草刈に代わる住民との交流（都営住宅） ・先生達の準備への参加（PTA行事） ・防災倉庫の設置 どうやってたかできるようになるか？ ・防災組織の設置 ・意義目的の見直し活動 ・今やっていることにプラスαしていく ・他力本願でもOK ・場所の提供 ・やってくれそうな・やってくれる人達を巻き込む ・お祭りの意義（先生が手伝わなければいけない理由） ・サポートしてくれる団体に協力を依頼する ・他の自治会等の祭りに参加してみる ・他の団体等が行っているイベント等を見してみる ・できない理由ばかり考えない
D	■竹馬やベーゴマ遊びを実施したいが、参加する子どもが少なく、実施できる場所もない。 （今年度、近隣の子ども会が廃止） （アイディアがあっても、それを生かすところが見つからない。） →地域の活性化のために、小学校のお祭り等で実施できると良い。ノウハウを持つ人は、その提供を「押し売り」になると敬遠するが、実はその「押し売り」が潜在的には求められているようだ。また、実施場所については、他団体に相談してみると、使用可能な施設を教えてもらえることもある。 ■災害時に要介護人はどうすればよい？ （「自助・共助・公助」の言葉は理解できるが、実際には体力・腕力がなければ助けられない。） →昔遊びの中の例えば「めんこ」の実施。今、めんこができる人が少なくなっているが、めんこは肩や腕を使うので、災害時にとても必要となる腕力・筋力を鍛えることに効果がある。実施していきたい。 ■アウトドア活動は防災につながる。 →マッチの擦り方・火のおこし方・缶詰の開け方など、それができない子どもが多い（大人も多い）。 防災訓練等で実施していくほか、アウトドア活動にも取り入れていくと良い。

E	・基本的には毎年のイベントでうまくいっているという感じはある ⇒「〇〇がしたかった（できなかった）」ということは今のところないが、他の自治会の成功例を見て参考にする、取り入れてみるということはあると思うので、うまくいっている事例に関する情報提供はしてほしい。 （地域かわら版でしんさかした自治会の取組を見て、防災訓練の仕立てを変えてみたという話有り。） ＜今現在問題となっていること＞ 自治会の体制の問題（役員が１年で交代する、役員のなり手が見つかりにくい） 防災の問題（適切な避難場所がはっきりしない） その他（イベントの場所確保に苦労する）
F	・障害者がたくさん参加する防災訓練→個人情報共有(難しいとは思いますが可能な範囲での共有は必要) ・地域での子ども職業体験 ・じゃんけん大会、伝言ゲーム、クイズ大会、人間だるまおとし(神鋼南自治会の新年会で実施する予定、自治会のイベントに参加をしない人へのアプローチのため) ・避難所としての大学の役割→受け入れ体制等が整備されていない現状がある。
G	《取り組みたかったができなかったこと》 昔遊びを取り入れ、防災について考えるというテーマの中で、近隣の自治会や住民に話を伝えるのにきっかけを作るタイミングが難しいという意見が過去の懇談会から多く出たと思います。きっかけを作るための意見も今回、いくつか出ました。 ①自治会で管理している備蓄倉庫の場所もわからない人がいるので、倉庫の見学会を行い、避難ルートの確認もできた。 ②いろいろな団体の方が参加されているので自治会だけにこだわらず、一緒になって子供たちを中心にイベント等の呼びかけを行い、交流の足掛かりを増やしていければ。 ③あまり固くならず、お酒を飲みながらの会合も必要ではないか。 このような意見が出ました。

■ 四中地区 ■

◆アンケート結果

No.	質問	回答			
1	懇談会の感想	充実していた	ふつう	充実してない	無回答
		23	3	0	0
1	主な意見	充実していた 理由：・2016年の経験と実績があるから。 ・様々な意見ができた。 ・地域の思いが伝わってきて良かった。 ・アクションプランの振り返りができたし、課題も見えてきた。 ・地域の方々の協力がすばらしいと思いました。 ・意見交換が活発であった。			
2	もっと「つながり」は必要か	必要	必要ではない	無回答	
		26	0	0	
2	主な意見	必要 理由：・より住みよい地域にするために必要。 ・高齢者の孤独死など問題を防ぐために必要です。 ・顔見知りも増え、情報交換ができることも大切だと思う。 ・より安心・見守りできる地域づくり。 ・狭い地域だけではなかなかできないこともできるようになる。 ・子どもも高齢者も安心して暮らすために必要なことと思います。			
3	新たな発見・気づき・出会いはあったか	あった	なかった	わからない	無回答
		22	0	1	3
3	主な意見	あった 理由：・また新しいメンバーの方と接することが出来た。 ・何でも一つのテーマを真剣に話す事は良いと思います。 ・世代間の意識のギャップがあると感じました。 ・他の自治会の方の悩みも共有できた。 ・やはり情報の周知が難しいと思った。 ・地域活動が活発。子供達がラジオ体操しながら友人と楽しんでいた。 無回答 理由：・びみょう			
4	プランを継続すると地	良くなる	変わらない	わからない	無回答

	域は良くなるか	23	1	0	2
	主な意見	よくなると思う 理由：・熱意と行動で地域は変わる ・気軽に参加できる事だから、つながりが増えると思う。 ・自治会レベルを超えたつながりが出来る。 ・顔見知りを増やしていけば、いろいろなことにつながると思う。 ・皆、顔を知り、安心な地域ができると思います。 ・新しいつながりができる ・地域のつながりが強くなると思うから。 継続しても変わらない 理由：・体操が地域を変えるパワーの強さに疑問。現状も大変頑張っていると思うけれど			
5	参加または協力してみようと思うか	思う 14	迷っている 5	思わない 2	無回答 5
		参加または協力してみようと思う 理由：・引き続きみんなの楽しい顔を見たいから。 ・元気なら(参加したい気持ちはいっぱいありますが・・・) 迷っている 理由：・時間的に難しい 思わない： 理由：・地域の結びつき強化はとても大きくどこから着手していいかわからないテーマと思う。できる所から始めましょう。ラジオ体操に皆が疑問をもちました。 無回答： 理由：・宣伝等できることなら協力したいとは思っています。			
6	その他地域懇談会に関する意見	・2016年の熱意を皆さんに伝えることが出来て良かった。 ・開催の告知を広報で知った。自治会宛の通知に通知を出して欲しい。 ・以前の地域懇談会よりも明るく前向きな意見が増えて来たのはとても良いと感じている。 ・グループごとの討議と発表で、現役保護者の方の意見と今後の方向性が見えて良かったです。 ・メモ欄は良かったです。 ・とてもすばらしいと思いました。 ・地域懇談の求める所をもう少し研究する余地があると思う。			

◆懇談内容

(1) アクションプランの効果を共有する。	
◆アクションプランに関わって、自分の身の回りで変わったことはありましたか？ または、今後変わりそうなことはありますか？ ◆参加していない人は、今後どんなことが起こるか、どんな風になりそうか、考えてみてください。	
A	* 知り合いが増えた、大人と子供たちのつながりができた。 * 地域の役員の方々の顔が見える関係ができた。 * 早起きの習慣がついた、朝ご飯がおいしくなった。 * 地域の公園周辺の様子が分かった。 * 朝散歩や規則正しい生活のきっかけとなった。 * 楽しみが増えた。 * 高齢者の方々が元気になると思う。
B	・ 毎朝体操するようになった。 ・ 体操会に入る人が増えた。 ・ 顔見知りが増えた。 ・ 自治会としても子ども会が継続できた。 ・ 子ども達にとって継続できるものにしていければ良いのではないか。
C	①地域との繋がり ・ 顔見知りが増える。(大人、子ども問わず) ・ 参加することで、子ども達から元気をもらえる。 ・ 日常的に挨拶を交わす関係になる。子ども達の防犯の観点からも、安全になる。 ・ 退職後何をしたらいいかわからないという時に、地域に知り合いがいれば、困らない。 ・ 現役世代は忙しいため、現状はなかなか手が回らないが、やってもらった・助けてもらったことは、今度自分ができる時に還元しようという気持ちになる。(お互い様の関係、できることの循環) ②自治会活動の円滑化 ・ 自治会への加入促進。(アクションプランを実施することが、自治会加入のメリットと成り得る。) ・ 緊急時の相互補助の関係性の構築。 ・ 自治会内の顔が繋がることで、役員経験者の話を聞くことができる。 また、みんなで協力することで、一人一人の仕事や負担を軽減することができる。
D	【出された意見】 ・ 新しい仲間ができた ・ 多世代交流 ・ 犯罪抑止/非行防止 ・ 地域の課題の共有 ・ 健康増進/医療費抑制 ・ 新しい活動のつながりがつくれた ・ 雨のなか準備する役員の姿に心がりフレッシュした

	【まとめ】 多世代が交流し、仲間づくりをすることにより、将来の犯罪抑止、非行防止につながられたり、健康増進、新しい活動へのつながりが期待できるとの効果を共有しました。
E	*前に出て体操したことで顔を覚えられたため、顔見知りができた。 *顔の見える関係性につながった。 *人の輪ができた（アクションプラン参加者・実行委員）。 *知り合った方々の情報が入るようになり他の自治会の行事など参加し行動が広くなった。市内（四中地区）の行ったことがない所も行くようになり、この地区がどのような地区なのか実感できた。 *いろいろな立場の方がアクションプランに参加・協力し実施できた。自治会だけではできないこともでき、四中地区のパワーを感じた。 *次回は参加できるよう予定を調整したい。地域の子供たちが参加する姿を見て応援したと思った。顔見知りになれば、下校途中声掛けでき防犯にもつながる。 *子供の頃の成功体験が大切。次の地域作りにつながるのではないかな。 *市民の健康につながる
F	●多世代交流ができた ●子供会の負担が減った ●近所の子供たちとの会話が増えた ●地域を知ってもらうきっかけになり、行事のアナウンス等もしやすくなる ●若いお父さんお母さんに地域を知ってもらえた →自治会の加入につなげていきたい ●お年寄りの見守りにつなげることができる ●企画時には壮大過ぎて果たして集客出来るか不安だったが予想を超える参加人数だった
G	【コミュニケーション】 ・お互いが顔見知りになれた・町で声をかけてくれるようになった・地域の人に子どもたちを知ってもらえた・子どもと老人が触れ合えた・ハイタッチがよかった 【健康】 ・朝6時におきる癖がついた。早起きの良さを実感した 【防犯】 ・子どもの顔を知れば防犯にもつながる
H	・他地域や他の自治会の顔見知りが増え、話しやすくなった。 ・他地域との交流が増えた。 ・普段見かけない人が来るようになった。 ・自治会の構成員同士の交流が増えた。
(2) 継続するために必要なことを考える。	
A	*某マンション自治会では、8割が高齢者で、子供がいない。高齢者の方々にどうやって呼びかけていくか。（高齢者の方々への呼びかけの方法については、地域の子供たちに呼びかけてもらったかどうかという意見が出された。） *今後、さらに盛り上げていくために地元商店や飲食店にチラシの配布等について

	協力をしてもらったかどうか。
B	・継続していくためには市からの補助金が必要。今年は地元企業等から協賛金を募って実施できたが、来年度も同じように集まるとは限らない。 ・子どもは参加したいと思っても保護者が負担に感じ、参加に結びつかないことがある。保護者の負担感をどのように軽減していくか。 ・イベントなど、周りにどう周知していくか。今回の懇談会、知らない自治会もあった。「面白そう」、など見える形にしていかなければいけない。 ・子ども会の必要性について、保護者の認識の違いがある。
C	①参加者増に向けた仕掛け ◆大人に対して ・参加した人による口コミ ・実施会場周辺の住宅にチラシポスティング ・子どもによるチラシ配布 ◆子どもに対して ・お金のかからない楽しい遊びの実施。（かけっこ、ミニ運動会、落書きなど） ・お菓子（参加賞）の配付。 ・ハイタッチ。 ・ペット（動物）の参加。 ②会場 ・公園と比較して、学校の敷地は学校関係者以外にとっては敷居が高い。 ③事務局への要望 ・地域と学校とのパイプ役になってほしい。 ※事務局に対しては否定的な意見だけでなく、積極的に参加いただき嬉しかった！との声もいただきました。
D	【出された意見】 ・中心に関わる人物を増やす ・ラジオ体操を継続するのがいい ・子育て世代を取り込む ・参加者増大のための広報 ・誰でも参加できることの周知 ・おみやげなど、仕掛けの工夫 【まとめ】 高齢者世代が、子供の活動と思いこんでいたこともあったり、活動の広報や周知が大事と思われる。また、失敗を恐れず、まずはやってみることも大事かもしれません。
E	*周知方法：回覧だと日程が各家庭に残らないため全戸配布などの工夫。細かい字でいろいろ書いてあってもシニア世代には分かりづらい。健康目的で参加してもらうための周知方法の工夫 *参加しやすい仕組み作り：高齢者でも参加しやすい時間設定・内容。 *自治会加入率の低下
F	●学校・PTAをもっと巻き込んでいきたい ●中学生にどう周知し、取り込んでいくかが課題（部活等も含め）

	●学校の校庭を利用したい。小学校なら子供たちも安心していける。 ●中央線より南側の方の集客が課題 ●お年寄りにイベント参加を増やしたい→お年寄りの自治会退会を防ぎたい ●飽きさせないために内容を少しずつ変えていくことが大切 (ディズニーランドのように) ●働く世代が昼間仕事場に行っている間にお年寄りが子供たちを見守ることが出来る町にしたい
G	【参加者】 ・老人会はどうしても役員しか参加しない→もっとみんなに浸透させたい・もっと宣伝すると人が更に来るかも・親と子と一緒に参加しないとダメ・働いている親も地域活動に参加してほしい 【担い手】 ・高校生や大学生も手伝ってくれた・普段のお祭りなどから大人だけでなく子どもも手伝うのが当たり前の雰囲気になっていた・子育て世代は働いている人が多いので、申し訳ないが老人世代に色々と頼るしかない面がある 【地域を知る】 ・隣の中学校区とも将来的に交流ができるといい。ラジオ体操ならみんな出来る。・四中地区を再確認した上でさらに何かやりたい。・自分の地域を知ってから他の地域とも交流したい・自分の地域を知って好きになってほしい。将来、子どもが大人になった時に日野に戻ってくるかも・中学校区がどこからどこまでかわからない・町歩きなどをして四中地区に何があるかを知ってほしい 【課題】 ・老人は体が痛くてもとりあえず参加できるといい・大型マンションは閉鎖的になりがちなので、外に出て行くようにしていかないとダメ 【その他】 ・もっと発展させたい・地域で支えあえば長く日野で暮らせる
H	・もっと参加者を増やすような工夫をしたほうがよい。 ・子どもだけでなく、その親も取り込んでいきたい。 ・子ども会を復活させたい。 ・自治会等の役員の役割が大変で、引き受けてがいない。

■ 平山中地区 ■

◆アンケート結果

No.	質問	回答			
1	懇談会の感想	充実していた	ふつう	充実してない	無回答
		25	1	0	1
1	主な意見	充実していた 理由：・皆さんが積極的に発言して下さりたくさん意見交換できた ・グループ討議がよかった。 ・新しい発見・情報が得られたため。 ・活気があった、前向き ・進行がよく練られていた。発言が多く、なごやかに情報交換できた。 ・普段話せない方とも話せてよかったです。 ・知らないお話や地域のようにすを聞くことが出来ました。 ・地区での変化について改めて考える事ができ有意義でした。 ・クラブ運営に参考になった ・楽しく交流できた			
2	もっと「つながり」は必要か	必要	必要ではない	無回答	
		27	0	0	
2	主な意見	必要 理由：・まだまだつながりが一部に留まってしまっている。もっと高齢の方とつながりたい。 ・まだ、若い世代と高齢者世代、若い世代と平山の地域の繋がりが弱いため。 ・防災・良いまちづくりのため ・困った時助け合えるから。 ・西平山につどいの場がないので ・もっとももっとつながりを・・・ ・高齢者～子供たち、学校(先生も含めて)のつながりが強い。今後もこのまま続けてもらいたいと。			
3	新たな発見・気づき・出会いはあったか	あった	なかった	わからない	無回答
		26	0	0	1
3	主な意見	あった 理由：・ソレイユのこと、他の方との活動などをよりよく知ることができた。 ・いろいろな考え方、逆転の発想を知ることが出来た。 ・自治会の取り組みがよくわかった。			

		・ 知らなかった取り組みが少なくなかった ・ 公園等、普段見られていない部分のことが出来る。 ・ 子供が増えたとの認識 ・ 各活動が(団体が)他の団体と協力して行う事が増えている ・ 平山には新しいサロンカフェがいっぱいできていること ・ 地域交流の大切さを感じました。 ・ いろいろな地域の人々の活動状況等知識が増えました。 ・ 平山遊歩道のPRがもっと必要だとわかった ・ 子供たちが協力的。大人の話をきちんと聞いてくれる。			
4	プランを継続すると地域は良くなるか	良くなる	変わらない	わからない	無回答
		27	0	0	0
	主な意見	よくなると思う 理由：・ 顔が見えるつながりが出来る。 ・ たくさんの方とのかかわりが新しい発見と発展を生むから。 ・ 関わりも地域も集まり力となるため ・ 情報・問題の共有が大切だと思いました。 ・ 顔がみえる関係は大切、互助のしくみづくりが大切 ・ 継続は大きな力になると思います。 ・ もっともっと明るく・・・ ・ つながりが広がる ・ 小学校の率直な意見やかかわりは必要			
5	参加または協力してみようと思うか	思う	迷っている	思わない	無回答
		16	4	2	5
		参加または協力してみようと思う 理由：・ 地域を良くしたい。 ・ 川北・上村用水を歩こう開催 ・ 地域活動の一環として 迷っている 理由：・ なかなか時間が合いません。 思わない： 理由：・ 現在の消防団活動でいっぱいのため。 ・ 育成会活動を通して協力していきます。 無回答： 理由：・ なかなか時間的に難しい。			

6	その他地域懇談会に関する意見	・地域コミュニティの新たな場所・遊歩道の存在を知り出掛けてみようと思います。情報が得られて有意義でした。 ・話し合いの時間が短いと感じました。 ・社協として今後も関わっていく予定
---	----------------	---

◆懇談内容

1 平山中地区は最近変わってきたという声を聞くことがあります。		
あなたがこの地域が良い方に変わって来たなあと思うことはなんですか？		
A	【学校が集いの場に】 ・小学校が人々の交流を深める基点の場になっている。（まつり・地域懇談会等） ・学校で防災キャンプやお祭りを行ったことで、子どもと高齢者のつながりが出来た。 【地域に対する意識向上】 ・地域の為に「何かをしたい！」という声があげやすくなった。協働意識が高まっている。 ・地域懇談会がしっかりとした内容で行われるようになった。（以前はよく分からなかった。） ・地域懇談会やアクションプラン等、話し合える場が出来てきた。若い世代も参加しやすくなった。 【こども】 ・街が区画整理されたことで、若い世代や子どもが増えた。 ・こどもたちが「何かをしたい！」と思えるように発展していっている。子どものボランティアが増えた。 【防災】 ・防災意識が高まっている。防災はどの世代にも共通の問題。 ・こどもから保護者へと防災意識が高まっている。 【高齢者】 ・高齢者のお話を伺う機会が増えた。 ・サロンが増えた。	
B	・ドラマの撮影など地域の風景がテレビに出る機会が増えており、見慣れた風景が、テレビで見ると違った風景になるなど地域の発見になった。 ・夏祭りなど地域のイベントを通して、人のつながり、世代間の交流が出来ている。 ・区画整理事業により町が形成されつつあり、川沿いの道路が広がった。 ・家の建替え等により世代交代が起こっているため、世代間の交流があり、子供が増えてきているので、町に活気が戻ってきている。 ・日ごろからの近所づきあいがあると、緊急時に近所の方が協働して対処してくれる。 ・平山台文化スポーツクラブを利用している方の8割が高齢者である。	
C	①（子どもも含め）防災意識が高まった。 ②横のつながり、顔が見える関係が出来た。 元気な高齢者の姿を目にすることが増えた。	

	③地域が活性化した。 様々なイベント（用水歩きなど）が実施されるようになった。 ④公園で遊ぶ子どもが増えた。 ⑤大きな道路が出来てきた。
D	・高齢者の独居者や空き家も増えている。 ・平山6丁目は店舗が少ない。市民の力で何とかしないといけない。 ・平山台交流の会で平山台健康・市民支援センターに畑を作っている。そこで子どもたちと収穫を行い芋掘り会を行うことで、多世代交流にもなっている。 ・平山2丁目の「ひだまりサロン」に参加することで、近隣の人たちと挨拶ができるようになった。 ・平山2丁目は「赤ちゃん訪問」が増えている。 ・西平山でトマト栽培をしているが、2016年から、青年会議所とコラボイベント（飲食業の方によるカクテルパーティー等）をしている。 ・西平山で「空き家プロジェクト」が行われている。元村長の家で歴史的な資料もある。
E	<施設系> ・施設がきれいになって利用しやすくなった ・図書館に子どもの居場所や預けるところがある ・浅川土手が走りやすくなり、ウォーキングの人も増えた ・道路が広がって人や車が通りやすくなってきた ・駅周辺の開発が続いている（コンビニが欲しい） ・横断歩道が増えて安心して歩ける ・街灯が増えて、明るくなった <ソフト系> ・イベントが増えた。参加する子供も増えた。 ・イベントや授業に、学生や地域の人がかかわってくれることが増えた ・高齢者が登校時見守ってくれる ・いってらっしゃい、おかえりなさい、と言ってくれる人が増えた ・新しいトマトピューレを使った牛蒡ピラフが美味しい ・防災に力を入れている ・給食に地元の野菜が増えた ・畑で、農家の方（小林さん）の指導の下、縄文土器を焼いた ・熊本の災害の募金活動でみんなが協力してくれた ・ビオトープにかわせみが良く来る
F	1・公園で子どもだけで遊ぶのを見かけるようになった。 ・平日も公園に人が集まるようになってきた。 2・浅川の堤防がかさ上げされ、防災上の安心感が増した。 ・北野街道の拡幅。 3・住民間の交流の活発化。 4・雪かき、草取りの人員が確保された。
良い方に変わってきたと思う理由は何ですか？	
A	・顔が見える関係ができ、新しいコミュニティーが広がったから。 ・育成会や地域懇談会など基点が生まれた成果。

B	・スポーツクラブやひだまり・ソレイユといった地域の方が集う場所やイベントがあるので、友達を連れて、出かけるきっかけができ、コミュニケーションをとるようになった。
C	①防災に関する教育・イベント（ウォークラリー）が実施されている。 自主防災会が協力してくれる。 ②ふれあいサロンの開設、平山わの会の開催。 ③他大学との連携など、学生が地域の活性化に貢献している。 ボランティアや自治会が協力してくれる。 ④個人が自発的に公園の清掃をしてくれる。 積極的な人が多い。
D	・平山台文化スポーツクラブに人が集まっている。 ・平山2丁目に「ひだまりサロン」が出来て、高齢者の居場所ができた。 ・アパートの空き室が増えている。多摩信用金庫はそれを“資源”ととらえている。 ・平山1～3丁目には子育て世代に手ごろな価格の土地があり、新築も増えて若い世代の姿を見かけるようになっている。 ・平山台健康・市民支援センターと共に平山台交流の会が出来て、10年間行ってきた活動が実を結んでいる。
E	・平山小学校の先生は他校にくらべて若く、やる気がある。
F	1・公園を地域で管理、清掃している。また子供の見守りによる安心感。 ・JTに依頼して灰皿を設置した。 2・市役所に積極的な働きかけを行った。 3・ふれあいサロン（ひだまり・ソレイユ）の開設。 4・ボランティアの組織化。（平山三丁目ボランティアの会）

■七生中地区■

◆アンケート結果

No.	質問	回答			
1	懇談会の感想	充実していた	ふつう	充実してない	無回答
	主な意見	31	1	0	0
		充実していた 理由：・「活気あり」 ・なごやかに話し合えた。地域のために頑張っている人に会え地域への関心が高まった。 ・新しい人と知り合いになり、お話できた。 ・色々な人や意見等の交換 ・参加人員多数（次回へ既に動き出している点） ・各方面の人々が集まってきた。 ・何かをしようという気持ちの方たちが集まってくれたから。			

		・初めて今回知り合った顔のつながりが出来た。 ・参加者が大勢で将来が楽しみです。 ・これまでの活動を知ることが出来た。 ・いろいろな話が聞けた。 ・Q3 の理由による。(※ 1) ・色々な意見が聞けた。 ・笑いありで、なお、それぞれの課題を話していたから ・なお BON まつりの経験から地域との関わり方、きっかけが出来て、来年度に対して具体的な提案が多く出た。 ・新たな人と知り合えることは良いこと。 ふつう 理由：・時間が・・・			
2	もっと「つながり」は必要か	必要 32	必要ではない 0	無回答 0	
	主な意見	必要 理由：・顔のみれる関係が大切！ ・高齢化が進行中でひごろのお付き合いが大切です。 ・つながり(キズナの強さ)は絶対に必要 ・自治会活動に積極的に参加できる人が欲しい ・防災のことを考えると緊急の課題と思う。 ・顔が見える地域活動を継続・発展のため。 ・個々の力では余りに小さい、大きな波が必要。 ・民生委員をしているので、昔から住んでいる方と若い方との交流が少ない点や、昔から住んでいる方々の高齢化・孤立化も心配 ・防犯面だけでなく、人とつながることは大事 ・顔がわかる関係が大切 ・違う自治会の人との顔と顔のつながりは災害がその他ときに役に立つ ・日本の伝統、強みだと思う。 ・つながりの始めはあいさつ(礼だけ+こんにちは+一言話す)この順になると思う、それから更なるつながりが生まれる ・何かあった時にとっても必要なことだと思うから ・生活していく上で必要だと思うから ・その方が楽しいと思うから。			
3	新たな発見・気づき・出会いはあったか	あった 30	なかった 0	わからない 0	無回答 2
	主な意見	あった 理由：・普段話せなかった方と交流ができた。			

		・地域のことを考えている人が多いことを知った。(2名) ・自治会長をしたことで出会えたこと感謝しております。収穫であると感じています。 ・自分の知らない分野の話を聞くことが出来ました。 ・身近にいる地域の人々と知り合えたこと。 ・育成会等でお話しする機会もあったが、改めてこういう場で話をするのはよいと思う。 ・地域で農業やカフェをやっている方々の考えなどをきかせていただけた。 ・アクションプランに興味を持ってくださる方とお会いできた。 ・ななお BON まつりに前回参加していない人も次回は参加したい、全員地域に協力したい事を知った。 ・地域のことを知ることが出来た。 ・この会が年々なごやかになってきている気がする(*1) ・D グループでは全員何かしらの形で BON まつりに参加・協力したため、今までの懇談会よりもすぐに打ち解けて楽しく話が出来たと思います。 ・テーマと違う内容の紹介あり→新たな気づき ・人と人とのつながりの大切さ 無回答 理由：・ほぼ知っている方でした。			
4	プランを継続すると地域は良くなるか	良くなる	変わらない	わからない	無回答
	主な意見	32	0	0	0
		よくなると思う 理由：・少しずつ少しずつが良い ・より多くの仲間をふやせます。 ・1人1人の意識の向上で良くなる ・熱い思いを持っている人が多くいる。 ・子供の安全・安心した街づくりが出来ると思います。 ・一步一步の積み重ねが大事・継続こそ力かと思えます。 ・何もしないよりは小さなことでも継続して続けていくことが大切なのではないのでしょうか。 ・なかなか参加出来ない人達も入ってきてくれる(希望)と思う ・自治会単位ではなく自治会合同でなにかをしよ			

		うというアイデアが生まれた。 ・松が丘自治会は68世帯だがBONまつりにいつも夫婦で歩かない人が10夫婦ぐらい参加したので今後も継続発展させていきたい。 ・熱気を感じた。			
5	参加または協力してみようと思うか	思う	迷っている	思わない	無回答
		25	2	1	4
6	その他地域懇談会に関する意見	参加または協力してみようと思う 理由： ・おそらく育成会として参加するのでは？ ・子供と参加しながら子供に親が楽しく前向きに頑張る姿を見せることが出来る。 ・今年もよろしくお願いします ・去年同様参加し、自治会としても協力したい。 ・昨年度につづいて参加したい。 ・なおBONまつりでの出店による協力が出るとおもいます。 無回答： 理由： ・すでに参加してます。 ・継続して今年も実行委員として頑張ります。			
		・懇談の時間が短い。もう少し普段の悩み等が話せる場にしては・・・ ・特にありません！！ ・確実に七生地域は活性化していきます。 ・何が可能なのかいろいろ迷ってみたいと思います。 ・またの機会があれば誘ってください。 ・午後の部は2時頃からの開始できないでしょうか？ ・前回より今回の参加者が多く今後もこの会を継続発展したい。 ・いつも子供の為にスペースと託児の方を付けて頂き、ありがとうございます。 ・ワークショップの時間はできれば60分あると良い。 ・交通整理にもっと力を入れてほしい			

◆懇談内容

(1) 来年度、「なおBONまつり」で協力できそうなこと	
七生中地区の課題解決のためには、アクションプランにより多くの人に参加してもらえることが不可欠です。来年度のなおBONまつり(2017/9/9実施予定)にできるだけ多くの人に参加してもらえるような行動宣言 (例)・●●自治会 出店を出します。	
A	①みなみだいら児童館 出店していた子供ブースをより拡張する。 ②南平七丁目自治会 来年こそBONまつりの出店で買い物をして、踊ります。 ③田中九丁目自治会 引き続き実行委員会として参加し、協賛を増やす！ ④民生委員 当日だけでもお手伝いが出来たら・・・

	⑤すずかけの家 準備協力・出店して私達の活動紹介をしたいと思います。
	出店（フランクフルト・アルコール） … 青少年育成会 出店 … 青少年委員 消防団を通じて人員を拡大 … 日野青年会議所 テント貼り … 南川辺自治会 知人に通知、屋台で色々購入する、出店（日本酒） … 日野市役所
B	・ 前回の反省を生かし、販売飲料の仕入れについて種類と量を再検討したい。 ・ 日本酒などのお酒を飲める店やフランクフルトの店を出したい。 ・ 高齢者と子どもたち両方が楽しめる内容を盛り込みたい。 ・ 友人、知人に BON 祭りを宣伝したい。 ・ 準備と片付けにおける、人数配置を見直したい。 ・ テント張りに協力したい。
C	全体的な意見として、ななお BON まつりの出店に関する意見が多く、出店の種類や品を増やしたり、新規出店するといった声があった。また身近なところから声かけをして、まつりの PR をするという外部へ宣伝や参加を呼びかけるという人もいた。以上のことから、前回出店側で参加していた人たちは出店側のことをより良くしたく、出店側でない人たちはより多くの人に遊びにきてもらうという意見にまとめられる。 ①おまかせワークハウス お客さんへの周知、声かけ パン・焼き菓子の出店を出す。 ②松ヶ丘自治体 食べ物の出店数を増やす 警備担当の見直し バイトを使う ③消防団第七分団 スタッフ T シャツの作成 新メンバーの加入 新曲を入れる ④地域包括すずらん 以前も出した焼き鳥の売る数を増やす ⑤健康づくり推進員 出店数を増やす 踊る曲数を増やす ⑥南平小 PTA 小学校や地域クラブでの声かけ 他地区とのコラボ
D	・ 七生中地区青少年育成会…中学生にボランティアとして BON まつりに協力してもらうよう呼びかける。 子どもたちに宣伝する。PTA 等において PR・広報活動。 ・ 七生中親父会…メンバーに参加を呼び掛ける。出店する。会場の設営に協力する。 ・ 日野パイロットファーム…出店する（地場野菜の販売）。 ・ 日野青年会議所…PR 協力（ポスターやチラシ配布等）。出店や手伝い。協賛。 ・ 南平向島自治会…他の自治会や団体との交流を促進し、共同のイベントを企画する。 ・ 南平 5 丁目カフェ…フリーマーケットの開催。
E	・ 社会福祉協議会：実行委員会に参加する。 ・ 民生児童委員：出店をする。 ・ 新川辺自治会：子供が楽しく参加できるよう工夫する。 ・ 南平 6 丁目田中自治会：子供が楽しめるイベントを考える。 ・ チーム七生：実行委員会に参加する。七生中のブラスバンド部など地域の子供たちに活躍してもらえよう参加を促す。
F	・ 南平緑と水のネットワーク 緑と花いっぱいの街にしよう。 ・ 民生児童委員 南ヶ丘自治会で役員をやっていたので、BON 祭りの PR・参加依頼を提案できそう。

	・松が丘自治会 自動車、自転車の警備・準備片づけ。 ・帝京大学 ジュニアリーダー講習会を通した若い人の参加呼びかけ。 ・青少年育成会 出店を出す。
G	①実行委員会に参加する・とん汁販売・カレー販売・バザー出店 ②盆まつりの店に食べに行く ③映像記録を残す ④みんなを誘う キーワード・・・《食》
H	・地域包括支援センターすずらん…①市の見守りネットワーク関係者へのアプローチ②介護事業所と連携し、協力を得る ・熊野睦…知人・友人を誘って一緒に踊る ・日野市社会福祉協議会…①黒子に徹する②賛助金の協力を得られる団体に呼び掛ける③学生に参加させるネットワークを構築する ・民生委員・児童委員…①音響係②一人でも多く来てもらう
(2) 継続するために必要なことを考える。	
七生中地区の課題解決のためには、365日のうち1日だけ盛り上がるのみでは解決に結び付きません。BON まつりで得た人とのつながりや、情報、気持ちの変化を日頃の地域活動に活かしてこそ、解決に結び付きます。地域のためにできる行動宣言 (例)・● ●自治会 サロンを始めたいと思います。・挨拶をはじめます。	
A	①みなみだいら児童館 私達の活動を充実させ、子供たちの環境を考える懇談会のようなものを開きたい。 ② 南平七丁目自治会 今回の懇談の内容を自治会の組長、次年度の会長にしっかりと引き継ぎます。(懇談会の存在自体を知らない人もいたので・・・) ③ 田中九丁目自治会 自治会長として過ごした一年の経験を生かし、新会長をしっかりサポートしたい。また、自らも南平のために何かしたい。 ⑤すずかけの家 地域のイベントや見回りに参加して、地域と共にすずかけも盛り上げたい！
B	初日の出マラソン、清掃ジョギング … 青少年育成会 体力測定、シニアサポート … 青少年委員 地元の祭りの復活 … 日野青年会議所 防災計画を推し進める … 南川辺自治会 地域内でのあいさつを心がける … 日野市役所 ・川へのポイ捨てが気になるため、ゴミ拾いをしたい。 ・ウォーキングの企画をしたい。 ・健康を目的として、体操のアドバイスをしたい。 ・各方面の団体と協働したい。
C	各々の仕事や所属団体に関する意見が多く、皆さん仕事や所属団体が異なるため6人6様の意見であった。しかし誰かのため、地域のために何かしようという気持ちは同じであるように感じた。 ①おまかせワークハウス 青い鳥の利用者にもっと活動を知ってもらう

	②松ヶ丘自治体 顔の見える自治会の推進 ③消防団第七分団 BON まつりを盛り上げる PTA、消防団の活動への積極的な参加 ④地域包括すずらん 顔の见えない高齢者をなくす ⑤健康づくり推進員 七生地区全体の防災訓練の実施 非自治会員への PR 活動 ⑥南平小 PTA 年配の方たちへ積極的な声かけ
D	・七生中地区青少年育成会…BON まつり実行委員会に参加する。BON まつり実行委員会への勧誘を行う。 育成会イベントへの参加呼びかけ。 ・七生中親父会…子どもたちの見守り。 ・日野パイロットファーム…子供食堂への協力。トマトを利用したグリーンカーテンを地域に広める。 ・日野青年会議所…地域の活動に参加する。 ・南平向島自治会…挨拶し合う取組みや各種イベントへの参加を促す取組みを行う。空家を活用したい。 ・南平5丁目カフェ…他団体の活動に参加する。
E	・社会福祉協議会：ぷらっと南平引き続き支援していく。 ・民生児童委員：ふれあいサークルの手伝いをしていく。 ・新川辺自治会：他の自治会とのつながりを作る。 ・南平6丁目田中自治会：自治会活動をより充実させる。 ・チーム七生：健康づくり推進員をしているのでウォーキングクラブを作ってみたい。
F	・南平緑と水のネットワーク 自治会役員なので、会員の増加に力を注ぎたい。 ・民生児童委員 アクションプランに携わっていきたい。 ・松が丘自治会 ぷらっと南平の発展。南平ふれあいサロンの継続。防災活動の発展。 ・帝京大学 ジュニアリーダーとして、地域イベントへ人材派遣。レクリエーションの提供。 ・青少年育成会 地域の学習会。防災訓練に参加。 ・その他 「防災」「認知症」等、月ごとの年間プログラムを決めて、自治会合同で学習会をしていく。
G	①自治会支援で課題解決 ②声かけ運動 ③地域の清掃 ④防災協力 キーワード・・・声かけ＝つながり
H	・地域包括支援センターすずらん…包括支援センターの周知徹底（「とりあえず包括」を合言葉に） ・熊野睦…①あいさつをする。年配の人に声をかける。②地域のイベントに参加する ・日野市社会福祉協議会…①あいさつをする。→顔見知りの関係を作り、地域の課題を探る。→ぷらっと南平などの団体へつなぐ②ひの筋

- 体操広報→新たな団体、既存団体へ七生 BON まつりのご案内をし、協力を募る
- ・ 民生委員・児童委員…民生委員としての仕事を深める（高齢化がますます進んでいる中で）

■ 二中地区 ■

◆アンケート結果

No.	質問	回答			
1	懇談会の感想	充実していた	ふつう	充実していない	無回答
		30	2	0	0
1	主な意見	充実していた 理由：・活発な意見が沢山出て、共有できたので充実していたと思います。 ・二中地区は初めての参加でしたが色々な方たちと知り合え、意見をお聞きでき充実した時間を過ごせました。 ・他の団体の意見が聞けたこと ・地域の方々の考えを知り良かった。 ・いろいろな意見を聞く事ができてよかった ・特に立会者との交流についての話し合いがあった ・市役所の皆さんが目的・方針が明確にされており、参加しやすい、またファシリテータの人選もよく考えられていると思う。 ・新たな出会いがありました。 ・多くの話し合いができた ・ブランニング作りへの関心が持てた ・いろいろな地区・年齢・仕事の方の話が聞けた。 ・地域の方々や関係機関等、この地区に対するあつい思いが伝わってきました ・前は七生中地区、今日は二中で違いはあったが楽しかった ・各グループで色々な視点の意見が出ていて面白かったです。 ・たくさんの人とお話をすることができ、いろいろな視野が広がりました。 ・様々な意見が聞けた ・地域の方々から生の声が聞けて良かった			
2	もっと「つながり」は必要か	必要	必要ではない	無回答	
		32	0	0	

	主な意見	必要 理由：・地域内で色々な世代の方々がつながることと交流することで地域が活性化すると思う。 ・当然です。 ・助け合い(ゆるやかな)なしで人は生きていけないので ・このまま都市化すると取り残される人が増える。 ・自分の自治会のことだけではなく、他の方々との交流は必要です。 ・孤独死が増えているので近隣に気づきの目を ・新しい住宅・マンションなどが増え、全く知らない人が多くなってきているため ・ゆるやかなつながりがこれからももう少しできていくと良いです。 ・地域で知り合えることが大切だと思うから。 ・高齢者、新しい住人達とのふれあいがあると何かの時役立つのでは ・近所のつきあいが減ってきているのでどんな人が住んでいるかもわからない状態になっている ・豊田駅北口・南口との交流 ・自分の住む地域で「つながり」がないのはさびしいと思います。だれでも参加しやすい工夫してブランニングの活動が広がってほしいです。 ・もっと住みやすくするため！ ・新住民が多いため			
3	新たな発見・気づき・出会いはあったか	あった	なかった	わからない	無回答
		32	0	0	0
	主な意見	あった 理由：・高齢者で足の悪い方はブランニングという事が現実的ではないということがわかりました。 ・二中地区は住んでいる地域ではなく、職場のある地域だという事もあり、地域の状況など、知らないことが多かったが様々なお話を聞く事ができ、勉強になりました。 ・自治会等の枠をこえたゆるやかなつながり ・マップにアクセシビリティの視点がなかった ・二中地区の楽しいことを探す→目線の位置を変えてとか、これからの活動に役立ちました。 ・地域についていろいろ考えている人が多いこと案(視点)があることがわかりよかった ・立会者の話題があった ・新しい視点を知る事ができおもしろい。			

		・プランニングの真髓を知る事ができました。 ・さまざまな団体の方がいらっしゃって沢山の話が聞くことが出来ました。 ・土地の活用でパクチー、わさび畑があることを初めて知りました。 ・バリアフリー・パンフレットに対してトイレや休憩所など、車椅子でも通れる道路 ・地域の方や関係機関それぞれの目線からの意見交換ができて良かったです ・今回初めて参加しましたが色んな方の考え方にふれることが出来て良かったです。 ・障害の方のことも考えていかなければならないと気付いた。 ・様々な視点からの意見を取りいれられた ・地区のこと、地域のことを考えている人が意外と多い			
4	プランを継続すると地域は良くなるか	良くなる	変わらない	わからない	無回答
	主な意見	31	0	0	1
		よくなると思う 理由：・たくさんの方々の参加と意見交換で地域は少しずつでもよくなると思う。 ・地域の人達が真剣に地域の事を考えプランを出すことで地域がよくなるはずがありません ・歩くことは基本ですし、歩かなければ見えないことがあるので。 ・顔見知りが増える。 ・みんなでつながっていることは大切（顔見知りになる・人柄もわかってきた。） ・日野市に愛着がわくのでは ・素晴らしいメンバーがいるので、地域資源の活用に新たなアイデアが出ると思います。 ・色々な団体によるそれぞれの視点をみいだせると思いました。 ・みんなの意識を高める ・このアクションプランをもっと多くの人に知ってもらえたらいいと思いました。（協力者も増えるのではないかな…） ・とてもきれいな MAP。今後も発展してほしい ・実際に行ってみることで自分の感性での発見が出来ると思います。色んな人と「共有」することで「地域の良さ」に気づくことができると思います。 ・様々な世代の方が必要としていることがあるた			

		め、良くなると思う。 ・人とのつながりが増えるため ・コミュニケーションは大切 ・近隣の自治会の交流などでちいさなところから大きなまとまりになるのでは			
5	参加または協力してみようと思うか	思う	迷っている	思わない	無回答
		21	5	2	4
		参加または協力してみようと思う 理由：・参加している。 ・障がい者の支援施設の利用者さんが地域とつながれるプランを作りたいから。 ・お世話が必要な方お世話をしている方がつどえる「日野マザーズホーム」を病院の近くで探していきたいと思っているので。 ・地域の活性化・多世代協働 ・自分の健康面が不安 ・吹上自治会の役員は年度交代となります。新しい人も参加しやすいようにするためにも外側からみたいと思います。 ・楽しかったです。 迷っている 理由：・自治会役員交代につき新メンバーと要相談 思わない： 理由：・余裕がない 無回答： 理由：・民生委員は全員で地域協力ということで常に出席することができず残念に思っています。 ・何とも言えない			
6	その他地域懇談会に関する意見	・活発なグループ討議で出た意見を活かして、二中地区がより良くなればと思います。ありがとうございました。 ・皆さんよく参加を熱心に行っていると思う。 ・色々な意見を頂けて良かったです。 ・自分の住む地域を地域で考える、役付きだけでなく、もっと一般の方々も参加できるようにしたいと考えます。 ・課題の認識は容易であるが解決に向け何をどのように実行するかを継続的に考えていかないといけないと感じました。 ・継続して毎回参加していくことがよいのでは(流れが受け入れ難く感じました。)立場上難しい人たちもいらっしゃると思いますが、一回だけの参加は何か読め			

	ないこともありました。見えないことも ・今回作成したマップをどのように活用していくかという点で地域の方々と一緒に考えていきたいと思いました。 ・今回参加したことで新たな視点に気づきました。ありがとうございました。 ・5/13(土)10:00～多摩平五丁目自治会街歩きツアー実施
--	---

◆懇談内容

「来年度プランニングツアーを一緒にやってみませんか？」	
(1) あなたがやってみたいプランニングツアー	
A	・車いす利用者、ベビーカー、高齢者、介護者など、誰でもが参加できるツアー（車いすトイレ、段差点検等バリアフリー点検ツアー、多摩平坂下りツアーなど） ・避難訓練も含めたツアー ・立川・八王子ではない日野独自の食べ歩き（飲食店など）ツアー ・日野独自の地形、用水路などを巡り災害についての知恵を高齢者から学ぶツアー
B	・地域の自然などを三世代で楽しむツアー ・浅川めぐりツアー ・「パン工房」または「ラーメン屋」巡りツアー ・“おしゃれな二中地区”を知るツアー ・「おいしいもの発見」ツアー ・お母さんとよちよち歩きのお子さんの“保育付”ツアー ・多摩平の森アート発見ツアー！
C	・パン食い（食べ比べ）ツアー ・自然→昼食→自然（コーヒブレイク）→夕食の一日がかり二中地区ツアー ・ひと・フォト・ティー（地区を散策して立ち寄った場所を撮影し、それを地図にする。最後は振り返りながらお茶でもしてほっと一息つきましょう） ・衣食住の食と居（住）に重点を置いた情報充実の生活お役立ちツアー ・カフェ・スイーツなどお気に入りの店を見つける食べ物屋さんめぐり ・保育園や高齢者向け施設等、市内施設めぐり（+食）ツアー ・マイナちゃんといこう！二中地区ツアー（親子で散策しながらぬいぐるみやマスコットと写真を撮って思い出をつくろう）…等
D	・隠れスポット探しツアー 地味な石碑、小さな名所を巡る。知る人ぞ知るスポットを紹介しながら町歩きをする。 ・パン食べ比べツアー 二中地区はパン屋さんが多いので、それを巡るツアー。 ・食事やお茶をしながらブラブラ歩こうツアー 歩くのが辛い高齢者も気軽に参加でき、楽しめるツアー。 ・地域活動を知ってもらうツアー 地区センターで催しなどを行い、地域活動を知らない人に知ってもらうツアー。

E	・ 美味しいものを巡るツアー ・ 癒し、パワースポット巡り ・ 浅川沿いに歩いてスケッチ、フォトコンテスト、スタンプラリー ・ 黒川公園の縦のラインを歩くツアー ・ 黒川公園と図書館バックヤードツアー ・ ホタルや田んぼをその季節ごとにまわるツアー ・ 浅川土手沿いに彼岸花やあやめを植えたので、それを鑑賞する。 ・ 高齢者が元気で健康でいられるように神社などを巡る長生き健康願掛けツアー ・ 歩いたり自転車に乗ったり親子で巡る ・ 浅川土手で風揚げツアー
F	・ 二中地区のパワースポットめぐり ・ 体が満足するツアー(胃も心も) ・ グルメコースめぐり ・ 日野市魅力発見ツアー ・ メイドイン日野ツアー（日野産のものをめぐる）
G	・ よさこいや花火を見るツアー ・ 季節や時期に合わせたツアー ・ スタンプラリーツアー ・ 普段あまり外出されないお年寄りを誘い歩く健康ツアー ・ タワーブランニング…高層マンションや商業施設など、普段上がれない高いところから二中地区を見下ろす。高いところは風が強く寒いので季節は夏がおすすめ ・ お祭りで豊田ビールを飲みながら出店でおつまみツアー ・ 豊田の歴史を巡るツアー ・ 市内のお店で食べ物を購入し、桜が綺麗に見える公園でピクニックツアー ・ 葡萄、トマト、ブルーベリー、パクチー等季節の食べ物を食べるツアー
(2) 地域活動に参加してもらえる工夫	
A	・ 季節ごとに企画することにより継続性が生まれる ・ 学習会、座談会も盛り込んだツアーにする ・ 楽しみを大切に（堅苦しい内容にしない）ゆるさも必要 ・ 参加することでお楽しみ（景品など）があるとよいかもしれない
B	・ 若い世代が参加してくれる工夫が必要。 ・ 若い世代は平日は共働きで休日は用事があり連絡が取れない。 ・ 若い“パパ”に参加してもらうために休日の夜に「虫の声を聴く会」を開催。 ・ 自治会の行事に、掲示板で周知して、未加入者等の会員以外の参加も OK にしている。 ・ 子どもに地域の垣根はない。イベントの学校での PR も効果的。 ・ 「空き家」を子どもの集まれる場所にできないか。 ・ 在宅介護が今後地域の大きな課題となる。ケアテイカー(世話役)のためのサロンが無い。「市立病院」を人の集まれる場所にできないか。 ・ 自治会の持つ良いノウハウを他の自治会が共有する。
C	・ 幅広い世代を対象として色々な視点を取り入れる。 ・ マップの置き場を工夫する（マップ配りツアー等）掲載された店舗等に地図を置いてもらう。

	・季節ごとの変化をマップに取り入れる。 ・写真コンテスト（テーマを決めずに自由に撮影したもの）等、発表の場をつくる
D	・ブランニングマップを市役所関連施設だけに配布・設置するのではなく、駅などで配布し広く宣伝する。 ・グランドゴルフ、ベーゴマ、卓球などの高齢者の得意な遊びを子どもたちに教える場を設け、そこに来た保護者を地域活動の場に巻き込む。 ・地区センターで地域交流の場を設ける。 ・ランチ会や体験ツアーなどを定期的実施する。
E	・マップを全戸配布（新入居者含む）し、ツアーを知ってもらう。 ・割引チケットで特典を付ける。 ・花火大会や夏祭りなど大きなイベントと組み合わせ実施 ・「広報ひの」に地域イベントを必ず載せPR ・ツアーのメに飲み会などを行いコミュニケーションをとる。世代別ツアーや親子、子どもツアーの企画
F	・高齢者も子どもも、気軽に参加できる楽しい企画(日野産の果物を使ったお菓子の紹介など) ・黒川公園のわさび田などを見学し、わさび田が日野の産業として成功できるように、できればわさび田の整備を(枯葉の掃除など)行うなどの作業をして、次につなげていく。 ・日野の旬のものをめぐる企画(梨、ブルーベリー、パクチーなど)を立てる。季節を考えて、年に3回くらいがよいのでは。
G	・回覧 ・顔見知りになることから始め、口コミで広める
(3) どうすれば地域活動に関心のない人に参加してもらえるか？	
A	
B	・地域の「見える化」を行うことで地域に関心を持つのではないかな。 ・地域内の“場所”を発掘して、イベントPRなどを通して周知していく。 ・多摩平の森ふれあい館・多摩平交流センター・日野台地区センター・日野市立病院など。 ・ブランニングマップのレイヤー化・福祉マップ・子どもマップ・ママ友マップ
C	・コンテストに参加することで人脈がひろがるかも ・自分の写真や提案が採用されたらうれしい！ ・高幡不動に引き続き、日野を「アド街」で取り上げられるまちにしたい！等をPRしていく
D	・子ども向けのイベントや親子で参加できるイベントなどを実施し、そこに来た保護者をスタッフとして巻き込み、地域活動に関心をもってもらう。
E	・マップを全戸配布（新入居者含む）し、ツアーを知ってもらう。 ・地域のお祭りを活用（お祭りのにぎやかな音に惹かれて参加するのでは？）
F	・ツアーに参加した人が宣伝する ・口コミ ・企画の情報提供をして宣伝していく
G	時間切れのため、検討できていません

■ 一中地区 ■

◆アンケート結果

No.	質問	回答			
1	懇談会の感想	充実していた	ふつう	充実してない	無回答
		21	2	0	0
	主な意見	充実していた 理由：・活発な意見交換していた。 ・初めての参加でしたが地域住民の方の考え等、よくわかりました。 ・意見が活発に出た ・グループ内で多くの話が聞けた。お顔をお名前がわかり今後のつながりが出来た。 ・思っている事を皆さんよくお話くださったと思っている。 ・初参加で充実していた ・自治会についての意見交換ができた。 ・グループワークで積極的な意見が出された。所属団体の活動に参考になった。 ・皆様の意見を伺い、顔見知りになれたので良かった。 ・普段関わりの少ない方々との交流が図れたため ・通常会う事のない人々と知り合う事ができた。 ・他地域の地域活動の様子を知る事ができた。			
2		ふつう			
		理由：・顔の見える関係になるテーマ(名案)がなかなかまとまらない			
	もっと「つながり」は必要か	必要	必要ではない	無回答	
2		23	0	0	
	主な意見	必要 理由：・生活の場を豊かな人間関係で満たされて過ごすため。 ・助け合いなどが必要だと思うので。 ・より幸せに健康に暮らすために ・地域に住む人が色々な情報を共有すべき ・せめて隣の地区の行事に参加することによって自分のところが少し見えてくると思う。 ・大切だととても感じた。 ・必要だとは思いますがどのようにしたらよいかわからない。			

		・特に自治会活動は生活の原点となるものと考えます。若者の参加率向上、商会者の脱退防止は、急がねばならないと考えます。 ・地域でつながり支え合うことが大事だと思います。 ・いつ何時自分の身にも何が起こるかわからない ・高齢で当番の組長等をできない理由で脱会される方が多い。状況をつかみにくい。			
3	新たな発見・気づき・出会いはあったか	あった 19	なかった 2	わからない 2	無回答 3
	主な意見	あった 理由：・活発な取り組みをしている中でも悩みも大きいと思った ・自治会の方とお話しできる貴重な機会なのでいつも楽しみにしています。 ・他自治会の方と話ができた。 ・PRはこれでいいという事はないのでアクションを起こしていかなければと思う。 ・普段話せない世代と話せた。→全くその通りでした。 ・地域のことを考えている人が多いことを知った。 ・複数の団体が共に協力して活動すると大きな成功につながることもわかった。 ・複数の方から「おせっかい運動」「声かけ」 ・地域で頑張っている方を知る事ができた。			
4	プランを継続すると地域は良くなるか	良くなる 19	変わらない 0	わからない 4	無回答 2
	主な意見	よくなると思う 理由：・顔見知りが増え、コミュニケーションがとりやすくなる。 ・常に考えて取り組むことが必要 ・工夫は必要 ・小さなことから一歩ずつと思っている。 ・継続はとても大切だと思います。 ・そう願いたい。 ・機会ある度に出会うとつながりが生まれる。 ・よくなってほしい わからない 理由：・参加者の固定化が進むことなく幅広い人、新しい人の参加なくては地域はよくなる為。			
5	参加または協力してみようと思うか	思う 12	迷っている 5	思わない 2	無回答 4

		参加または協力してみようと思う 理由：・引き続きできる限り頑張ります。 ・業種柄、貢献できることは多いと思う ・何か協力できることがあればと考えています。 ・機会があれば協力させていただきたい。 ・現在も加わっている。 迷っている 理由：・ウ〜〜〜ン。 ・今の役割で手一杯感があり 思わない： 理由：・時間が取れない。 無回答： 理由：・出来ない→本人の体調が悪いため
6	その他地域懇談会に関する意見	・日社協として引き続き参加する方向です。 ・グループのメンバーが前回と重なっていたので次回は新たな出会いを期待しています。 ・初めて地区の懇談会に参加しました。在日野36年なのですが、地区の様子がわかり良かったです。 ・お金を使わないで何か思い出になるイベント？何かわかりませんが・・・。 ・市の活動々も少々わかりました。ありがとうございました。 ・最後にアルコールで懇親を検討ください。 ・団体として参加している人は仕事の一環として来ている。地域の事を話していくには地域の人の方がもっと参加して話し合いの方がよいと思う。(自治会や子ども会、地域で活動しているサークル etc の人など) ・貴重な懇談の機会をありがとうございます。

◆懇談内容

(1)「顔の見える関係」を作るアイデアを考えましょう！ どんな取り組みをしていますか？したいですか？	
◆取り組んだもの（取り組みたいもの）、その課題	
A	◆自治会…春、夏、秋のお祭り・どんど焼き ◆子どものまなざし…子育て講座(公民館でワークショップ→公民館利用者へ繋げる)・放課後デイサービスとの関わり(普段外出が難しい子どもたち) ◆社会福祉協議会…若い NPO 会員有志が新井の祭りに模擬店を出店・サロン(地域の人を講師として招く)
	課題

	・自治会加入率の低下 ・役員のなり手がいない ・(自治会を)やったことがなくできる自信がないから加入しない人も多い ・自治会の加入方法がわからない ・自治会が何をしているのか知らない若い世代 ・催し物を少ない人数で準備することが大変で、消防団などの協力なしには実施できない ・頼れる人が身近にいない子育て世代に自治会が力になることを知って欲しいが、必要とされていること以外の仕事も多い現実 ・災害が起きた時に困る(近隣のつながりがないので) ・自治会加入者と未加入者の壁 ・“地域”という括りの認識の低下や地域に関係なくできているネットワークの増加
B	課題 ・自治会活動・仲田の森で夏祭り・たまカフェ・地域の祭り ・盆踊り・どんど焼き・防災訓練・挨拶運動・自治会交流会・さくらの集い ・ふれあいサロン「縁がわ」を近隣自治会と実施。 ・「多摩川花だより」を作成し、自治会に配布した。 ・自治会活動に参加できない高齢者が自治会から抜けてしまう。 ・地域で声がかけづらくなっている。 ・防災活動に若い人が参加しない。 ・イベントがあっても会場まで行くことができない高齢者等がいる。
C	◆昨年の反省 ・昨年の夏祭りの来場者分析が必要（雨だからというより、来場者が内輪の人間ばかりであった） ・別のお祭りとの差別化が必要 →自治会の以外の人も巻き込みたい。しかしどうすれば？ ◆顔の見える関係を構築する ＝自治会の加入率を上げることと仮定し、なぜ自治会に加入していないのか、自治会に加入してもらうには、どのようなことができるか考えた。 ・自治会に入らなくても、自治体や地域の団体があり、生活上困らない ・自治会が何をやっているのか分からない ・自治会がお祭りのための存在になっている ・役員の負担が大きい ・仕事をしていると、地域とのお付き合いが希薄になる ・三世代のうち、現役世代の真ん中が置いてけぼりになる

D	・ 学校で子供と遊ぶ。 ・ 自治会が協力する。 ・ 防犯に協力する。 ・ 月1回の定例会を開いている。 ・ 道路課から不要になった看板を再利用して使っている（手作りの防犯看板等）。 ・ アルミ缶を回収に資金に充てているほか、回収時に情報収集をしている。（子供が育って独立した等） ・ 道路の植樹柵に花を植えて管理している。 ・ 防災メンバーの女性部会を月1度行い、地域の情報を集めている。 ・ 顔を合わせるだけでなく話し合いができる環境を。 ・ ミニミニサロンの活用。 ・ 縁側サロンに参加するようにホステングしている。 ・ 資金集めにあらゆるところに助成金の応募を行った。 ・ 歳末警戒パトロール時に自治会・同志会・防災会が中万願自治会と交流した。 ・ 地域のつながりがある方に声かけを行った。 ・ 自治会の行事に参加している。 ・ 地域内にある保育園の交流会に参加している。（沢山の人が参加できれば・・・） ・ 高齢者を見守るため訪問している。 ・ 登下校の見守りやあいさつ運動を行っている。 ・ 世帯数は増加しているが自治会加入者は減少している。若い人の自治会参加がない。 ・ 後継者がいない。 ・ やりたいこととできることのギャップがある。
E	《取り組んだもの》 ◆ 防災・防犯：自主防災、防災訓練、夜回り（火の用心） ◆ イベント活動：交流会（夏または秋）、盆踊り、夕涼み会、お神輿、どんど焼き、出初式、キャンプ ◆ お祝い：敬老祝い、入学祝い ◆ 宣伝活動：ミニコミ紙、広報誌 ◆ 清掃活動：地域清掃、市の行事と合わせて清掃、資源物回収による資金集め ◆ 定例会：月一回地域の変化について話し合う、忘年会、新年会、寿老会 ◆ 他団体と協力：イベント等を他自治会・大学のゼミなどと合同開催 ◆ その他：健康教室（血圧測定し、説明を受ける）、家族と過ごす日を決める、地域のお店を使う 《課題》 ◆ 団員・役員関連：団員不足、役員不足、高齢課、若い男子不足、子供会を自治会が引き受けている ◆ イベントの運営：参加人数が少ない、地区の中で年齢差が大きく運営が難しい、協力態勢を作りたい ◆ 活動内容の周知：参加することでの負担を理由に敬遠されてしまうため、活動の意義が中々伝えきれない。 ◆ 欲を言えば・・・活動費を増額してほしい、できる行事が限られてしまう。

F	取り組んだもの ・自治会旅行 ・夏休みのラジオ体操 ・自治会まつり、地域のまつり ・高齢者サロンの手伝い ・自治会の方と防災について話し合う 取り組みたいもの ・夜の集まり（飲み会） ・市内一斉草取り 課題 ・昔からの恒例行事には地元の人が大勢参加するが、新しいイベントは定着しづらい(人が集まりにくい)
◆課題の解決方法	
A	・自治会がどんな活動をしているのかを知ってもらえるように PR していき、加入のきっかけを作る ・身近な人(自治会加入者)から自治会への加入を進めるような直接の声掛けをしてもらう ・若い家庭に自治会加入に関するアンケートを実施し、現状を知る ・自治会と若い人を繋ぐような、仲介者を作る ・イベント等にお土産を用意して、参加者を増やす
B	・仲田の森の夏祭りなどを小学校と連携して実施する。 ・若い人が来る祭りと、高齢者が興味を持つ防災イベントを同時に行う。 ・アルコールを飲みながら行う。 ・カフェなどの若い人が参加するイベントで、顔の見える関係を作ってその後に防災訓練などのイベントを行う。 ・イベント会場にいくシャトルバスをイベント時に走らせる。 ・イベントの場所を1箇所固定するのではなく、各地で持ちまわりで行う。
C	・地域を知ること（子どもだけでなく学校の先生など現役世代も巻き込む、隣近所を知らないより、知る） ・自治会の情報を広く周知する ・行政サービスが行き届きすぎているのでは？ →自治会に入るメリットをつくる （ごみの個別収集廃止、自治会に行かなければ得られない情報やサービスがある、等） ・災害（台風、大雪等）の時にはご近所での助け合いが重要（見た目や噂で判断しない） →多摩川、用水など水害に目を向けては。 ・おせっかいを焼く人が重要なのでは ・地域独自の習慣でお付き合いが増えることもある（よいこともあり、負担もある）
D	・資格をとる。 ・積極的に声をかけて、地域のつながり・人間関係を良くする。
E	◆交流する機会を増やし、つながりを深めること

	・ ラジオ体操 ・ 定期総会、懇親会 ・ 炊き出し、食べ物関連（期限がせまっている備蓄食料を配るなど） ・ 地道にPRをしていくこと 定期的な活動が大事ではないか、という話が出ていました。
F	・ 意志がつながる人達と粘り強く計画を実施する ・ 旅行、ウォーキング、グランドゴルフ、囲碁・将棋、ラジオ体操など人が集まりやすい企画の実行

■ 三中地区 ■

◆ アンケート結果

No.	質問	回答			
1	懇談会の感想	充実していた	ふつう	充実してない	無回答
		19	2	0	0
1	主な意見	充実していた 理由：・ 発言させていただきました。 ・ 話題が多く出てきている ・ フランクに話ができた ・ 色々な意見が聞けるので ・ 「つながり」の中で一歩進めたように思います。 ・ 初めて各種の事例で参考にしたい発表あり ・ 地域の方達と話ができた ・ 参加することがまず一番いろんな意見が聞けた ・ 新たな出会いと楽しく充実した話ができただから ふつう 理由：・ 課題を話し合う時間が少なかった			
2	もっと「つながり」は必要か	必要	必要ではない	無回答	
		21	0	0	
2	主な意見	必要 理由：・ 高齢者の皆さんはあまり発言無いので ・ 何をするにも「つながり」があると活動しやすいため ・ 何でも人とのつながり関係がよくなければよくならないから ・ 高齢化が進んでいる ・ 子供たち高齢者も一緒に活動したい。 ・ 必要には思うが現実には大変なことである ・ 世代間での交流が高齢化社会では重要になると			

		思います。 ・特に防災などの時その場では「つながれない」普段からの大切さ大事さ ・助け合うことが自分の身を助けるだけでなく子供達への教育においても必要 ・地域でのまとまりをつよくすることで、地域ブランドをつくり日野市を発展させる			
3	新たな発見・気づき・出会いはあったか	あった	なかった	わからない	無回答
		20	1	0	0
	主な意見	あった 理由：・地域のことを考えている人が多いことを知った ・まとめと全体アクションプランを見れる機会が出来ること ・防災に対する新たな考え方を得られたため ・地域の人と交流できた。 ・日野市の方々がこんなにたくさん地域の為にしてくれている事に感謝です。 ・普段話せない世代、人と話ができた。 ・世代の違う方との防災意識を学べた ・備蓄食品で期限が25年もの(米国)があると知る ・熱い学生さんが新鮮でした ・その地域その地域で考え方がいろいろある ・二水会の活動が刺激 ・自助の面での備えが自分自身できていなかったことが分かった			
4	プランを継続すると地域は良くなるか	良くなる	変わらない	わからない	無回答
		21	0	0	0
	主な意見	よくなると思う 理由：・話し合いが大事 ・つながりを広める工夫を考える ・防災とつながりの両方の改善がはかれるため ・つながりが広がっているのを感じた ・色々な人が継続し、ムリなくできることから…が大切 ・継続は力なり！意識が変わると行動が変わると思います ・懇親がはかれる。 ・顔の見える関係ができる為 ・継続することが大事で少しずつつながってゆく ・地道な活動だが少しずつ防災意識が育ち、その行動も出てきているように思う ・何もやらないよりはまず行動をとるのはとても良い、興味のない人を巻き込むことが必要			

	参加または協力してみようと思うか	思う	迷っている	思わない	無回答
		13	3	1	4
5		参加または協力してみようと思う 理由：・習日が都合わるい ・参加しています ・参加済、卒業して直接の関わりは減りますが手伝います。 ・地域の方々にお会いでき、楽しく参加できる。色々な発見気づきがある。 ・日野市まちおこし！（プラネットなど）などにも参加しています。是非お誘い頂けたらと思います。 ・包括支援センターで協力できることがあれば協力したいと思います。 ・人ごとにするのではなく主体的に活動していきたいため 迷っている 理由：・具体的な目標がわからず不明 ・高齢のため 思わない： 理由：・千葉に単身赴任しているため			
6	その他地域懇談会に関する意見	・ない よかった ・毎日毎日話題が多く出てきているのでいい感じです。これをもっと展開していけると強い日野市になると思います。 ・今回は楽しい企画のアイデアが出てよかったです。防災お泊りキャンプ BBQ…自治会加入は大切と改めて感じました。なぜ、加入しにくいのか色々な経験から感じた事を出し合い新しいその時代に地域にあった自治会のあり方を考えたいと思いました。ありがとうございました。 ・もっと行政もボランティアまかせではなく頑張ってもらいたい。時間を厳守してください。 ・有意義な時間でした ・防災に関していろいろな意見が出て興味をひかれる事が多く個人でも、団体でも考えるべき所が多くあったと思う ・参加しやすさから。回数、時間帯が良いのだが回数を増しても。 ・アクションプランでは、自分の中でのアイデア、企画を出していきたいと思いました。また、消防団員募集のチラシが入っていましたが、入団したいと思います。			

◆懇談内容

(1) あなたが防災について行っていることは何かありますか。また、やってみたいと思っていることはありますか？

A	1 備蓄に関すること ・カンパン、水、ガスコンロ、寝袋、簡易トイレ、電池式ランプ、ホイッスルなどを備えている。 ・緊急時の灯りとするため、廃油を取り置いている。 ・防災用品は複数個所に分けて置いている。 ・すぐに動ける服装で寝ている。 2 地域で行うこと ・社協でD I G、H U G(みんなで地域の危険な場所を確認する)や災害時要支援者への聞き取りを行っている。 ・簡易トイレの作成方法を広めたい。 ・『助けが必要』『高齢一人世帯である』『心配いらない』『避難済』などのメッセージを地域住民だけがわかる記号・色等で表示する、安心フラッグ・安心マークを作りたい。 ・明星大と連携したい。 ・災害時に地域の人を支援する、助け隊を作りたい。 ・地域のつながりを強めたい(お年寄りや地域の仲間に声かけ)
B	・家族との災害時の確認等 (例) 何かあった時の避難地区、もしくは集合場所の確認。及び予定を共有する。 ・自助体制の確立 (例) 非常食、水の確保、ガスコンロ等の用具の準備、風呂水のストック (すぐに風呂水を捨てない等の工夫)、車のガソリンを常に半分以上確保する。 ・避難拠点の確立 (例) 避難区域、地区のバリアフリーの推進、貯水槽の設置等。※自分で行うことではないが、行政等にやってほしいこととして意見が出た。
C	・備蓄品を備えている。各家庭で工夫している。 ◎アイディア 水・・・ウォーターサーバが役立つ。お風呂に水をためる習慣。トイレを流すのに使える。 トイレ・・・庭でトイレができるようにしておく。被災時には臭いが気になる。 炭・・・ガスや電気が止まった時に使える。日ごろから BBQ で練習しておく。 その他・・・スコップを玄関に。窓側に備品を置いておく。石油ストーブ、ガスコンロ、カイロ冷蔵庫に肉を蓄える ⇒防災お泊りをしてみたい！ ・防災×キャンプ、アウトドア、3日間耐えるためのシミュレーション ・ジュニアリーダーのキャンプのノウハウを活かす 〈その他の意見〉 ・防災運動会、そなエリア（東京都の防災体験施設）の体験、ハザードマップの確認、認知症の方のための訓練、自治体主催の防災訓練への参加

D	①やっていること ・ 普段使う水を備蓄している。 ・ おいしい缶詰を備蓄し、余らせることがないようにする。 ・ 最新の防災グッズをチェックする。 ・ 給水拠点の確認 ②やりたいこと ・ 共助をやるために自助によって自分の身を守れるようにする。
E	【個人】 ・ 水の確保：ペットボトルの水をトイレや車の中などにも備蓄、風呂の残り湯を取っておく。 ・ 燃料等の確保：電池の用意、炭と火鉢の用意 ・ 防災用品の準備：防災グッズ入りバックの準備、ヘルメットと靴、スマホの充電器を入れる、粘着テープや突っ張り棒などの準備、ラジオ・ライトを準備 ・ その他：職場から歩いて帰ってみる、ホイッスルを身につける（⇒特に女性は普段でも防犯対策になる）、カバンにアメを常備、普段食べるものを非常食にする、キャンプ上手になる、旅行セットを常に用意、物を減らす、知恵と知識をつめておく 【地域】 ・ カエルキャラバンなど防災イベントへの参加 ・ 夏のイベントで体育館で寝る・着衣水泳・火おこし・自分の場所づくりなどをおこなう
F	①行っていること ・ 防災課(原文まま)を自治会に呼んで、避難場所やけが人の応急処置などの、防災に関する勉強会を開いた。 ・ 自治会内での自主防災組織の整備の検討を行っている。 ・ 防災トイレ(段ボール製)を購入した。 ・ 野菜を干して保存食にしている。 ・ いざという時の連絡手段としての携帯電話の充電を欠かさないために、手動の発電機を購入した。 ②やってみたいこと。 ・ 「信頼できる」防災組織を作りたい。 ・ 防災時の安否確認の効率化に役立つ「黄色いハンカチ運動」の推進
(2)「つながり」を作るためにしていることはありますか。また、してみたいことはありますか？	
A	・ お祭り、餅つき、新年会など地域のイベントに参加している。 ・ 自治会として地域の人にイベントへの参加を呼びかけている。 ・ 防災をきっかけとして積極的に地域に出かけて顔見知りを増やしている。 ・ 子供を通じた親同士の交流をしている。 ・ 犬の散歩時に飼い主同士で交流している。 ・ 子供やお年寄りにあいさつをしている。 ・ 趣味が釣りなので、大漁の時は近所におすそ分けしている。
B	・ 交流スペースでつながりを促進する。 (例)お茶会の実施、「ひだまり」等といったサロンを実施している。防災キャラバ

	ン等を実施すると面白いかもしれない。 ・引きこもりがちな人を地域活動に参加させる工夫 (例) 高齢者などへの声掛け、散歩のよびかけ等 ・年代を超えた交流を推進する。 (例) 早朝、通学路の見回りを行い、大人だけでなく、子供にも挨拶で年代を超えた交流を図り、次第に近所の人との挨拶にもつなげる。その他、年齢、体力に関係なく参加できるイベントとして、食事会やのど自慢大会なんかどうだろうかという意見が出た。
C	◎つながりのキーワード 地域のイベント・・・・・・・・好きなイベントに参加して気の合う人に出会う 挨拶・・・・・・・・近隣高齢者への声かけ、隣同士の挨拶、顔見知りになる 趣味のつながり・・・・・・・・趣味を通して交流する セミナー参加・開催・・・・・・・・まちゼミ参加も 自治会・・・・・・・・まずは加入 子ども会・・・・・・・・プレイワーカーとして参加 二水会・・・・・・・・学生も一緒に 〈その他の意見〉 ・市全体の広域でのつながりが必要、他市の団体との交流「青年リーダー交流会」、子どもたちのつながりを深める活動、避難場所での介護食訓練、企業（市が協定を結んでいるヘルシーフード等）と連携した訓練
D	①していること ・情報を教えてもらうだけでなく自分から探しに行く。 ・組織内で情報を共有する。 ②してみたいころ ・複数団体でのグッズの共同購入 ・実際に被災した人たちの体験談を聞く
E	【問題点】 ・災害時、携帯電話やスマホの役割は重要であるが、SNS では意外に繋がりたい人と繋がれないことがある。 ・地方から出てきている学生は地域とのつながりが少ない。 ・中学生以上の子たちの繋がりが薄い。 ・災害伝言ダイヤルの使い方がわかりにくい、使ってみないとわからない。 ・自治会の回覧板を子どもが見ない⇒情報が取れない 【解決への提案】 ・地域の人と会って挨拶する時にイベントの案内をする ・地域の夏祭りなどの前にカエルキャラバンをやりたい ・地元のクラブ（野球・サッカー その他）と自治会が集まったり、協力しあう。
F	① ていること ・二水会で、高齢者同士の繋がり、明星大学と高齢者との繋がりを深めている。 ②してみたいこと。

	・コミュニケーションの場所を確保したい。 （例）空き家の活用。学生のシェアハウスを作り、高齢者との交流の場とする等 ・高齢者から若者へアドバイスや知識を教える形で交流できないか。 （例）野菜作りを通して交流する等。 ・人の集まるイベントをやってみたい。
--	--

■三沢中地区■

◆アンケート結果概要

No.	質問	回答			
1	懇談会の感想	充実していた	ふつう	充実していない	無回答
		19	5	0	1
1	主な意見	充実していた 理由：・いろいろ意見を聞かせて頂いた ・話し合いが良かった ・落川交流センターの活動を詳しく知ることができた。 ・各地域の活動がわかった ・グループでの発言が活発であった。司会の進め方もよかった ・地域で活動されている方々のお話を伺えたので ・（プレイヤーとその他の温度差が大きい）やっている人がこれだけ集まるのは素晴らしい。 ・つながりをテーマにしたワークショップはわかりやすかった。 ・学生さんとの出会いがあり、実際に具体的に次の行動に移せそうだから。			
2	もっと「つながり」は必要か	必要	必要ではない	無回答	
		25	0	0	
2	主な意見	必要 理由：・地域内コミュニケーション ・高齢化が進んでいくため ・個々の自治会だけでなく近場の自治会どうしの協力事業等ができたらなあ？ ・単独ではできないことができる気がする ・ワークショップの中で、参加者が少ないということも多くの方がおっしゃっていたので。 ・高齢化が進行中で不可欠。 ・“のっかりっこ”を広げましょう			

		・小学生の親が孤独であるがためにモンスター化していると最近感じ子ども、あそび、を通じ人が集まる場を益々続けたいと思っているから。			
3	新たな発見・気づき・出会いはあったか	あった 22	なかった 2	わからない 0	無回答 1
	主な意見	あった 理由：・活動内容や困っている事など共通点が多いことを感じた。 ・様々な方達と交流できた。 ・子どもが普通の公園で遊ぶ事に昔のように遊べない事にきづかされる！ ・子どもの支援団体の方が元気だと思いました。 ・落川交流センターのような活動が他の地域にも拡げられる可能性 ・地域のことを考えている人が多いことを知った ・色んな団体があることを知ることにつながりやすくなる ・色々な世代の方のご意見がうかがえて勉強になりました。 ・子どもと学生がもっとつながれる ・素晴らしい活動があることを知った。 ・新しい自治会、団体との方と知り合いになれた。 ・落川堤の空家活用が興味深かったです。 ・明星大学の学生の紹介で、日野ボラセン、明星ボラセンに伺えました。			
4	プランを継続すると地域は良くなるか	良くなる 22	変わらない 1	わからない 2	無回答 0
	主な意見	よくなると思う 理由：・落川交流センターの利用。全員参加の手作りのイベントで！ ・色々な方達が連携するので ・なるとは思いますが取り組みをする方が必ずいつも参加することが条件かと思えます。 ・実際にイベントの参加者が増えているということだったので。 ・継続は力なり ・人が顔を合わせ、火や食を囲むと、心が通うと思うから。 継続しても変わらない 理由：・継続してこのような機会を続けると良い わからない 理由：・難しいテーマをプランに選んでいるので。ただ			

		し、このプロセスは必要。			
5	参加または協力してみようと思うか	思う	迷っている	思わない	無回答
		13	5	4	3
5		参加または協力してみようと思う 理由：・地域包括支援センターで協力できることがあれば協力したい ・できる範囲ではありますが、小さな事でも何かのお役にたてるのなら！ ・とても勉強になったので、また参加してみたいです。 ・やっている 迷っている 理由：・日常の業務等で多忙のため ・高齢福祉課の取組である気に向け運動と連携できる部分が大きいが、一業者の立場なので。 思わない： 理由：・多忙 ・今は今の生活でパンパンだからです。			
		・自治会の運営に対する講習会・研修会等（事務進め方） ・ファシリテーターの方がうまく皆に話をふってくれ、よかったです。意見交換の時間がもう少し多いとうれしいです。発表の場をいただけ、ありがとうございます。企画、準備など、ありがとうございます。			
6	その他地域懇談会に関する意見	・自治会の運営に対する講習会・研修会等（事務進め方） ・ファシリテーターの方がうまく皆に話をふってくれ、よかったです。意見交換の時間がもう少し多いとうれしいです。発表の場をいただけ、ありがとうございます。企画、準備など、ありがとうございます。			

◆懇談内容

(1) 一緒に開催できることはありませんか？	
◆交流の為に取り組んでいること、その課題	
A	取組としては次のような内容を実施している。 ・防犯や防災の講習、防災訓練（※南新井自治会と新井団地自治会は共同で行っている） ・認知症サポーター養成講座 ・認知症家族介護者の交流会 ・落川交流センターでの芋煮会 ・南新井祭り（9月）（※子供も参加している） 上記の取組において、次の課題が顕著となっている。 ・自治会が全体的に高齢化が進んでいるため、防災訓練や祭り等のイベント参加が難しい状況である。 ・いつも同じ方の参加であり、他の方の参加がない。
B	【防災に関して】 （取組）防災訓練を目的にした交流会イベント等を開催している。

	(課題) ・役員ばかり準備等の負担を負う。自治会にメリットは求めるが、役員等の義務は果たさない人がいる。 ・参加者が固定している。高齢者と子育て世代ばかりで、現役世代が参加しない。若いうちから地域活動に関わらないと、定年後もコミュニティに入っていけない。 ・イベントを開催しても、自治会の加入に結び付かない。一人暮らし世帯やマンションの住人は加入しない。 ・自治会の会費だけではイベントの費用が賄えない。 【交流の場に関して】 (取組) ・落川交流センターは、子供が遊べ、交通の便が良く、非常に良い場所である。 ・南新井ふれあいサロンは活用されている。 ・個人的に道で会った人に挨拶し、声かけを行っている。 (課題) ・落川交流センターなど交流の場を知らない人がいる。 ・三沢中地区全体の交流イベントは無い。 ・便利な社会になり、近所づきあいの必要性が薄まり、地域のコミュニティが不要になっている。趣味のコミュニティばかりになっている。
C	○交流の為に取り組んでいること ・子ども食堂の立ち上げ支援 ・ふれあいサロン立ち上げ ・市民マルシェ ・各学校行事への参加 ・まちあるき ・障害者就労支援 ○課題 ・自治会加入者をはじめ、交流するために協力してもらう人の確保 ・交流イベントの参加者集めや、情報発信 ・交流イベントを行うための施設が老朽化しているため、それに対応した場所探し ・交流イベントにおける世代間ギャップの解消
D	○取り組んでいること 社会福祉協議会：防災をきっかけに地域と関わるイベント（カエルキャラバン・災害図上訓練・避難所設営ゲーム）。 福祉カフェテリア：介護予防教室・お弁当宅配・病院送迎・デイサービス・階段昇降支援。 落川上自治会：3つの自治会によるお祭り・市民フェアへの参加。 地域包括支援センターもぐさ：認知サポーター養成講座。 中央大学：中央大学ボランティアセンターによるボランティア希望者への情報提供。 ○課題 社会福祉協議会：取り組みへの参加者が少ない。男性参加者が少ない。 落川上自治会：自治会への参加者不足、高齢者が自治会から抜けてしまう。会長としてのプレッシャー、子供が少ない（子供会がない）。独居老人の閉じこもり。

	地域包括支援センターもぐさ：地域の方の認知症への理解があまりない。 中央大学：対象者が絞られていないイベントは、開催が難しいと感じる。
E	【取り組んでいること】 ・自治会・地域のイベント。（盆踊り・餅つきなど） ・学生ボランティアの交流会。 ・毎週水曜日に地区広場で子ども達と遊ぶ。 ・地域のお年寄りへ声掛けをする。 ・地域防災会への参加。 【課題】 ・イベント会場近隣の人しか来ない。（周知が困難） ・自治会長やボランティアの後任不在。 ・子どもを対象としているサークルでは人手が足りない。
F	1. 地域でのイベントについて 取り組み 地域の方から自治会へ提供された家でのイベント マンションでバーベキューなどイベントをしてつながっていく 課題 若年層が少ない 参加者が固定化している 2. 防災について 取り組み 落川交流センターでの炊き出し 災害対策（情報周知） 課題 災害時にどう助け合えば良いか、どう動けば良いかわからない 防災無線が聞こえないので避難所の開設やどんな支援を受けられるかわからない 高齢者や場所によっては避難所へ行くのが困難
◆組み合わせた課題の解決方法	
A	・他の自治体も含めた大規模での防災訓練の実施 →実際の災害が発生した時に対する動きを想定できるのではないか。 ・他の自治体でどんなイベントが行われているか聞く →他の自治体のイベント等が把握できれば何か糸口になるのではないか。 ・落川交流センターへのアクセスの改善 →アクセスの改善が図れれば、交流センターを活用したイベントの実施につながるのではないか。 ・身近な範囲での交流 →歩ける範囲での交流が現実的であるため、身近な範囲で盛んな交流ができればよいのではないか。
B	・自治会の事務的なことが負担で、自治会に加入しない人がいるので、市で事務局を担うなどのほか、 市で自治会加入率向上のための取り組みや自治会へさらなる資金的な支援等をして

	ほしい。 ・地域のイベントの参加者全員に役割を与え、共同作業を行い、参加者全員でイベントをつくる。 ・イベント開催後もつながりを継続し、交流の輪を広げる。 ・広域で支援し合える関係をつくる。 ・自治会で防災組織をつくる。
C	○テーマ：のっかりっこ！！ ・落川交流センターを中心地点として、周辺自治会の交流イベントを実施・広報する（つながりをつくるための拠点作り） ・落川交流センターを積極的に使用して、上記の交流イベントを行う ・自治会同士で交流イベントの情報共有をし、コラボレーションでイベントを行う⇒各自治会のイベントの「見える化」 ・交流イベントのための場所作りから、自分たちで行う ・自治会便り等を通じ、紙に残るような形で交流イベントの結果を残す
D	1. 落川交流センターの炊き出し食事会の後に認知症サポーター講習会を実施。 2. 高齢者の方々の自宅にある不用品を大学ボランティアの方々へ提供するような人と人の関わりを目的としたバザーの開催。 3. 自治会が若い人と知り合えるように、おやじの会（PTA）と一緒に活動。
E	・自治会同士の交流による活性化。（自治会の合体！？） ・大学ボランティアセンターとの連携。
F	近い自治会で協力し合い横のつながりを作る 自治会と市民団体をつなげる 自治体の共同イベントの運営で横のつながりを作る ↓ 他の自治会や団体とつながることで強いつながりを作り、課題や解決案を共有していく

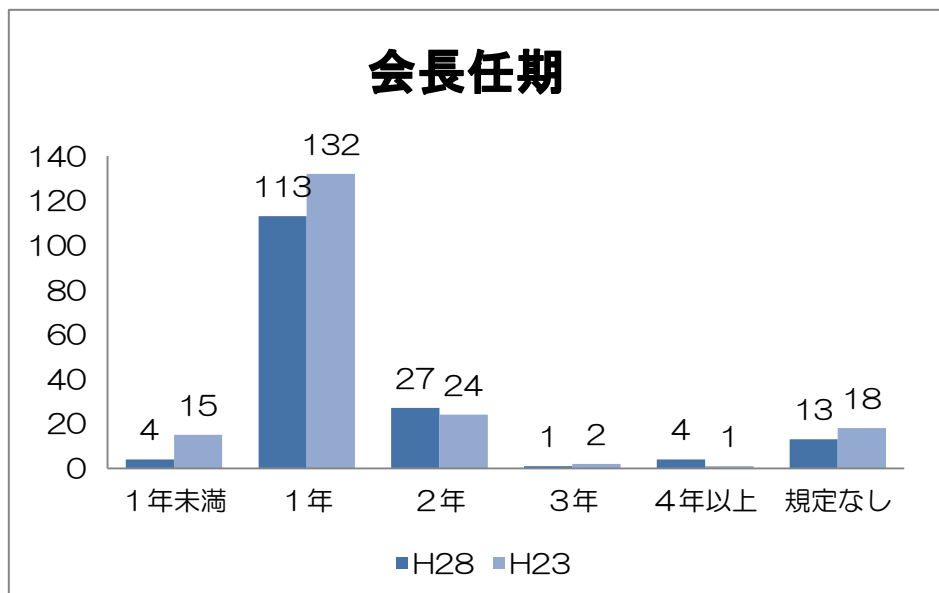
自治会アンケート調査 まとめ(抜粋)

日野市企画部地域協働課

自治会アンケート調査概要

対象：日野市内全自治会(243 団体)
方法：郵送によるアンケート調査
時期：平成 28 年 4 月
回収率：66.7%(162 件)

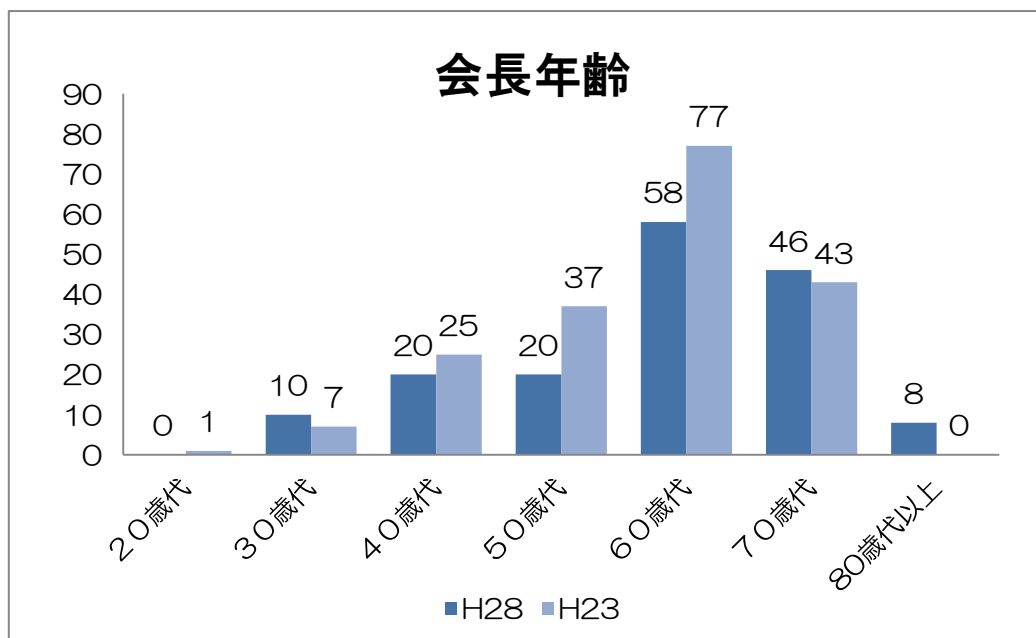
○自治会長の任期についてお聞きします。



自治会長の任期は、「1年」という自治会が一番多く、「1年未満」と合わせると、7割程度を占めています。

会長（役員）任期は、短いほうが役員を引き受けやすくなり、多くの方に自治会長を経験してもらうことができるといった面があります。一方で任期を複数年とすることにより経験、知識を生かすことができることも考えられます。

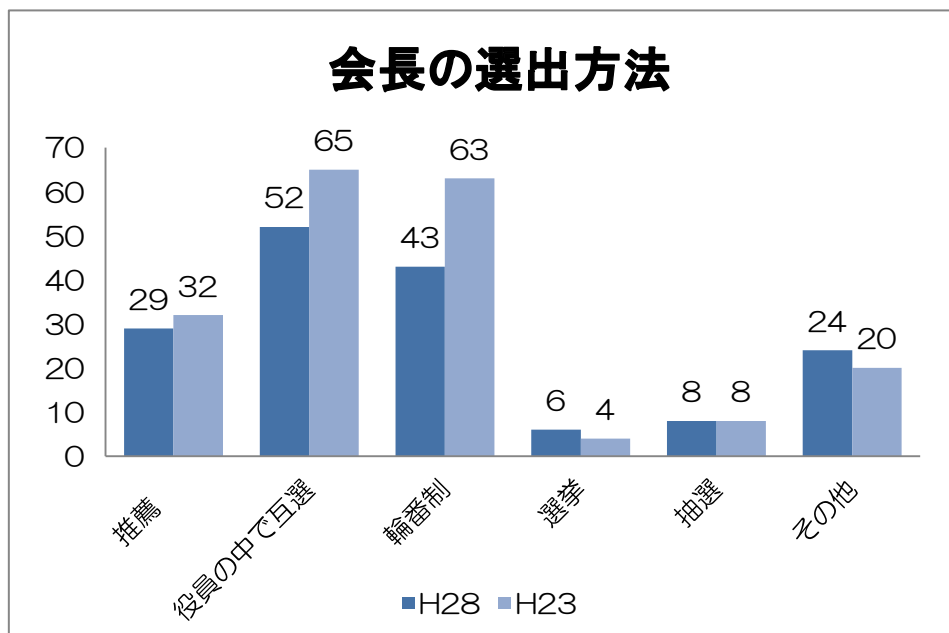
○現在の自治会長の年齢についてお聞きします。



自治会長の年齢は「60歳代」以上が7割程度を占めています。

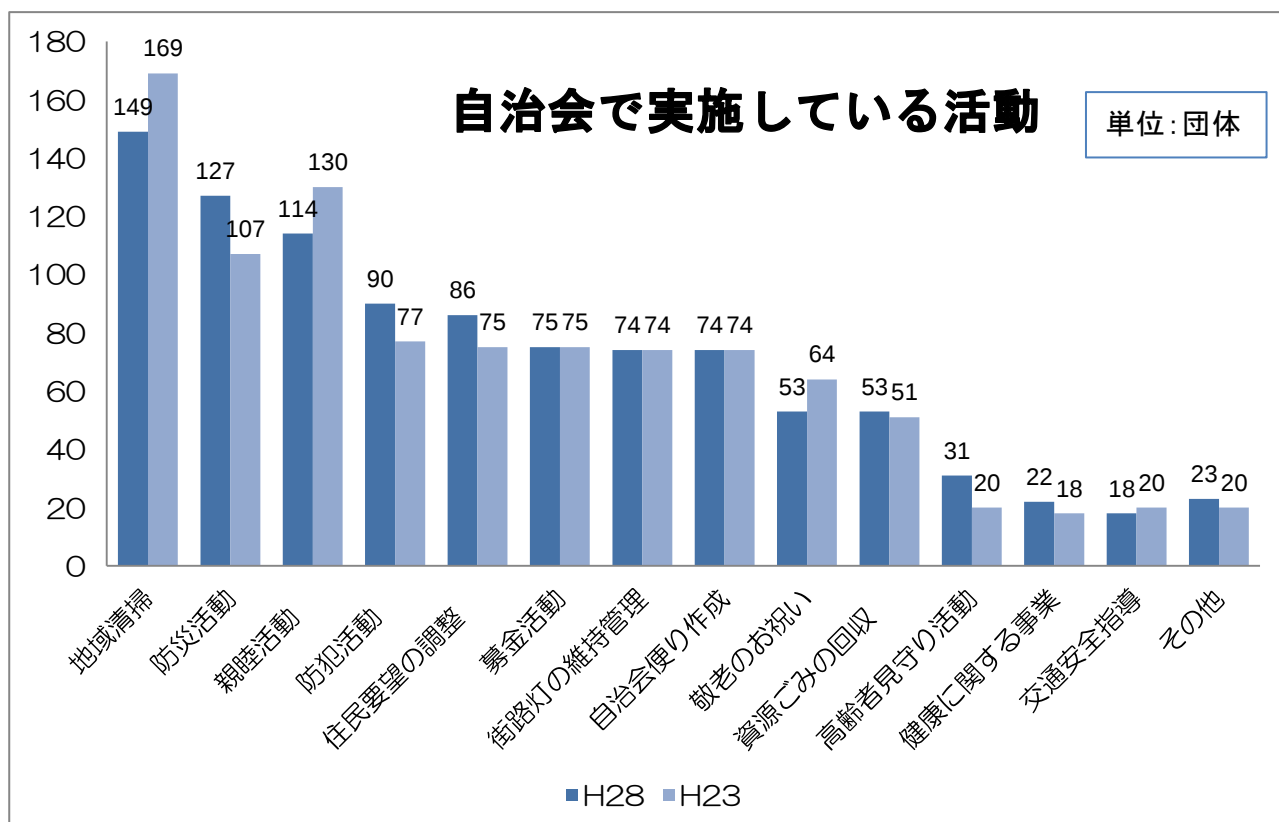
今まで培ってきた人生経験を生かして地域活動に目を向けた取り組みに着手する方が増えているようです。30歳代の自治会長が増えたことも大きな変化かもしれません。

○自治会長の選出方法についてお聞きます。



会長の選出方法は「推薦」「役員の中で互選」が約半数を占めています。次に多いのが「輪番制」となりますが、「会長がまわってくると会員が自治会をやめてしまう」という意見もあり、「輪番制」が減少傾向にあります。やはり会長の選出方法は自治会活動の大きな課題となっているようです。

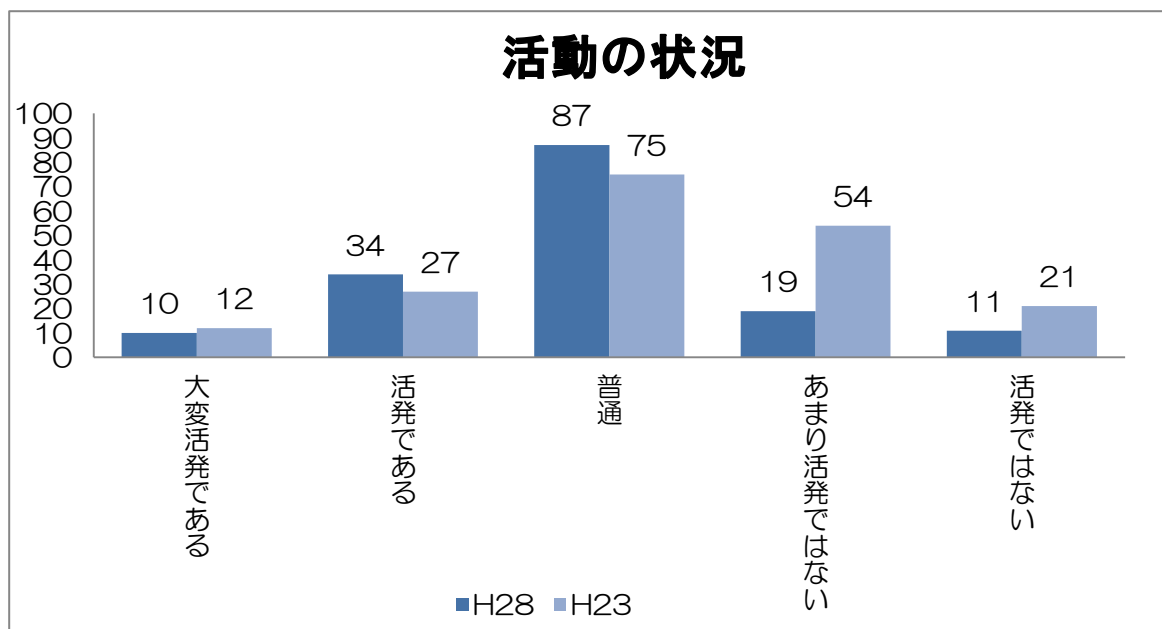
○自治会で実施している活動についてお聞きます。



近年各地で多発している地震から危機意識が生まれ、防災・防犯活動に重点を置きた

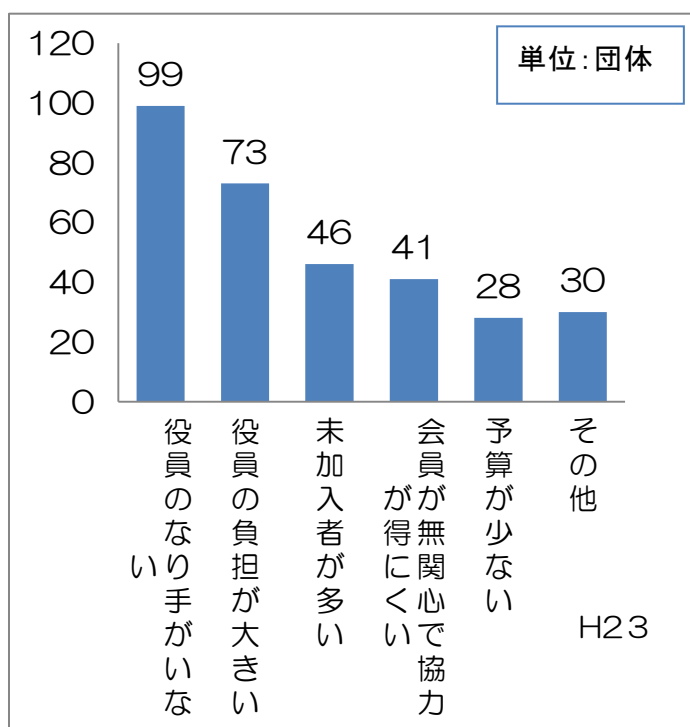
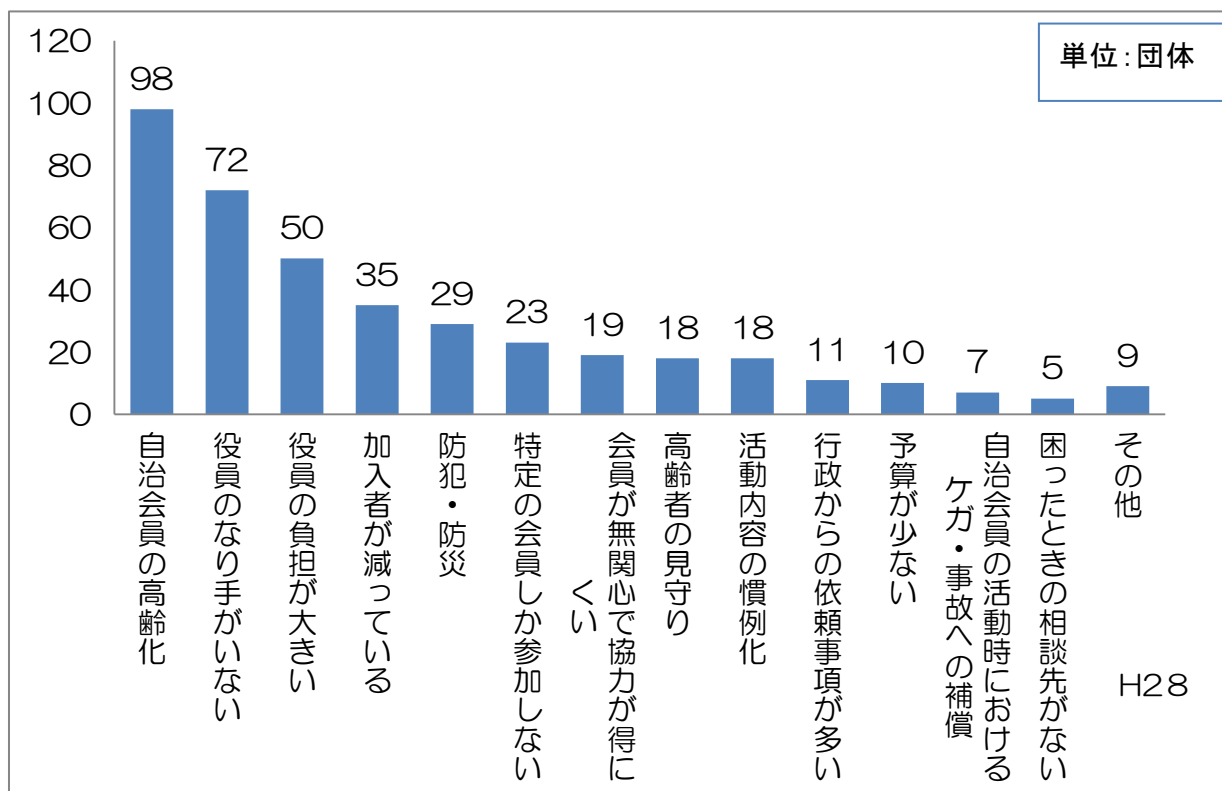
いという自治会が増えています。また高齢者の見守りや健康に関する活動も活発化しているようです。地域清掃については、地域の環境美化につながるだけでなく、近隣とのコミュニケーションや防犯に役立っているという意見もありました。

○貴自治会の活動についてお聞きます。



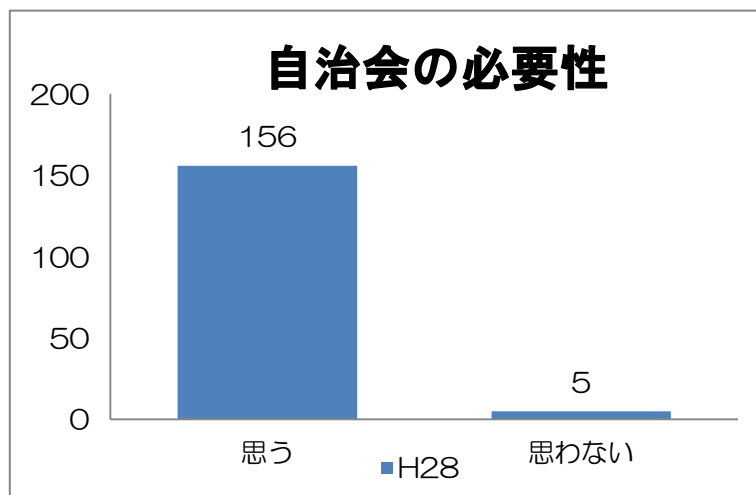
「活動が活発(もしくは普通)」であると回答した自治会は約 8 割となりました。平成 23 年度より約 2 割上昇しています。「あまり活発ではない」「活発ではない」と回答した自治会が大幅に減少したことは地域活動の重要性が再確認されたからかもしれません。

○自治会を運営する中での悩みについてお聞きします。



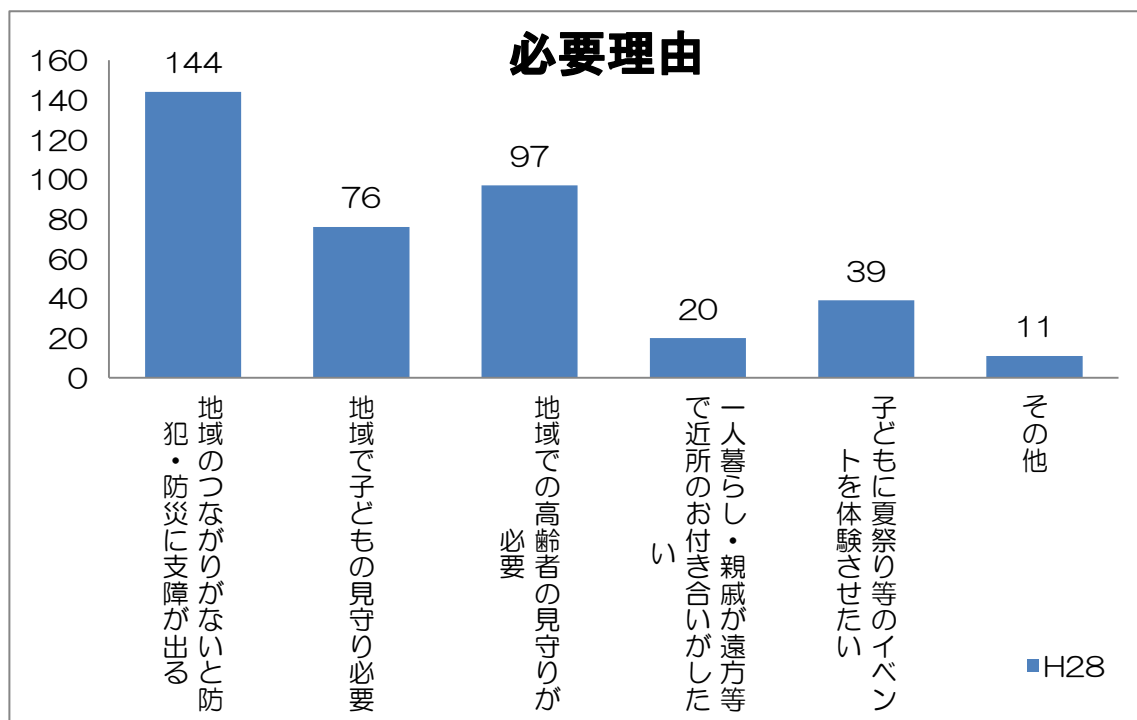
自治会の悩みは多種多様ですが「役員の高齢化」「役員のなり手」「役員の負担が大きい」と役員に関することが上位を占めています。
自治会活動は役員の負担を減らすことが改善のポイントとなるかもしれません。

○自治会活動の必要性についてお聞きします。



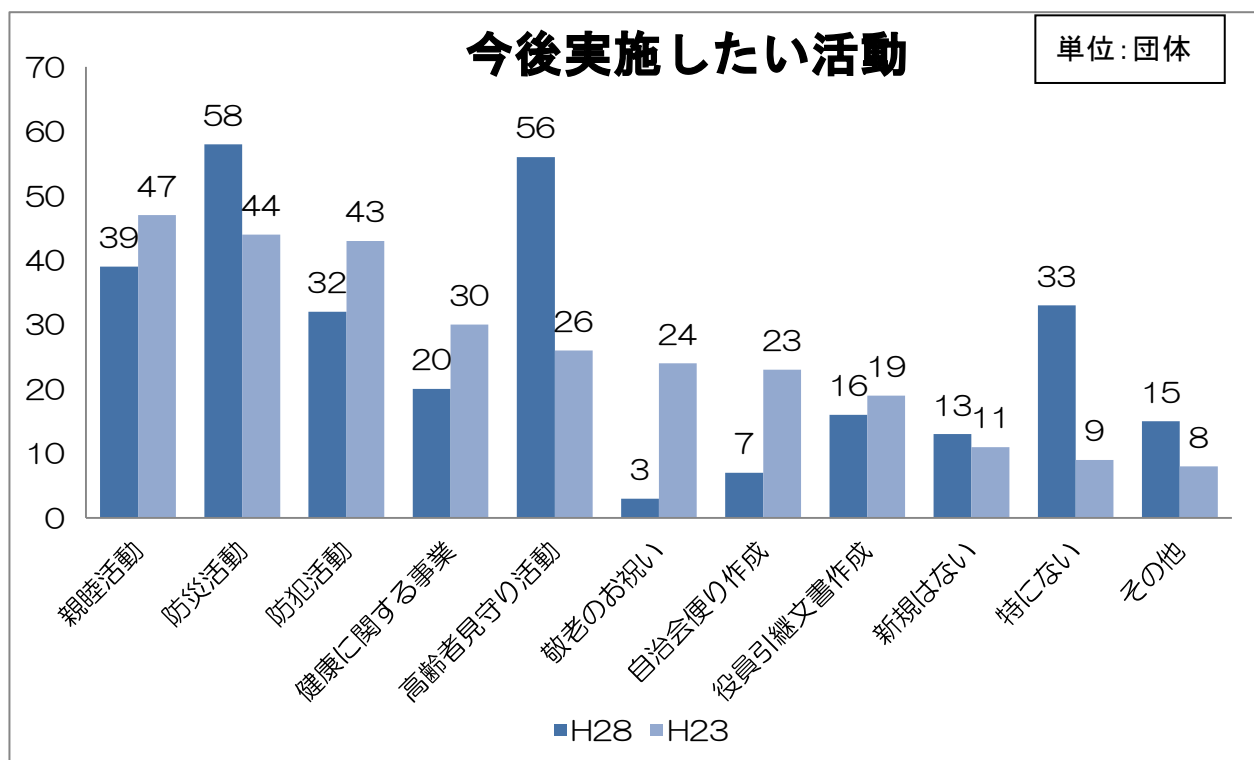
多くの方が自治会を必要だと考えているようです。

○自治会活動は必要だと思う理由についてお聞きします。



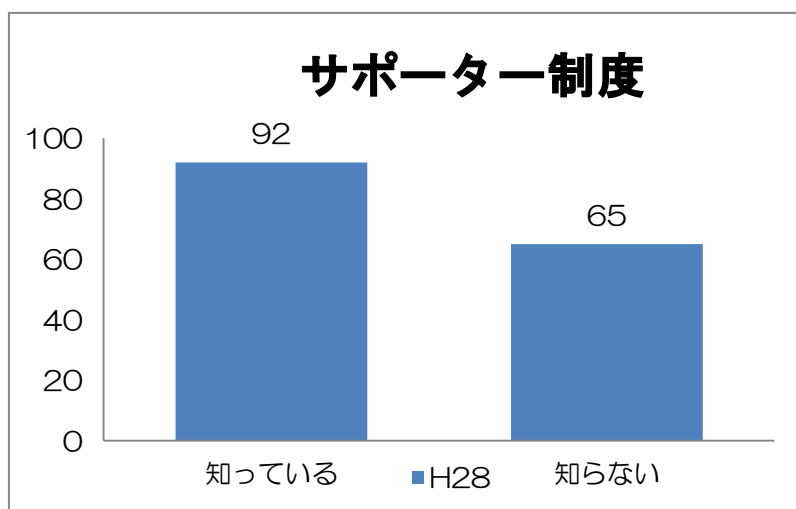
必要理由として挙げられるものはすべて「顔の見える関係性作り（つながり）」で解決できるものばかりです。改めて地域コミュニティの重要性が浮き彫りになりました。

○自治会で今後新たに取り組みたい活動についてお聞きします。



「高齢者の見守り活動」が大幅に増えています。自治会より「避難行動要支援者制度」の説明会の依頼が増えていることから関心の高さがうかがえます。

○地域サポーター制度を知っていますか。



地域サポーター制度を知っていると回答した自治会は約6割でした。
 地域サポーターとは各自治会に対し市職員が1名ずつ配置され、地域と市のパイプ役を担うことを目的としています。
 地域の情報や課題を市職員が共有することにより自治会や地域のサポートを行い、職員として行政の場にその経験を生かして業務を行っていくものです。
 もし地域サポーターを地域の活動で見かけましたら是非お声掛けください。

平成 28 年度 第 2 回
地域懇談会報告書
地域がつながり動き出す…!!!

平成 29 年 3 月発行

【編集・発行】日野市企画部地域協働課

日野市日野本町 1-6-2

日野市生活・保健センター内